
指定管理者 管理運営評価シート (令和6年度)

令和6年8月

～目 次～

■ 複合文化施設（パルテノン多摩）及び多摩中央公園内駐車場・・・	2
■ 市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館・・・・・・・・	6
■ コミュニティセンター・・・・・・・・・・・・・・・・	10
■ 総合体育館、屋外スポーツ施設及び多摩東公園・・・・・・・・	38
■ 温水プール及び総合福祉センター・・・・・・・・・・・・・・・・	42
■ 駐輪場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
■ 八ヶ岳少年自然の家・・・・・・・・・・・・・・・・	50
■ 永山複合施設駐車場・・・・・・・・・・・・・・・・	54
○ 指定管理者による取り組み（指定管理者記入分）・・・・・・・・	57

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名	多摩市立複合文化施設及び多摩市立多摩中央公園内駐車場			
指定管理者名	パルテノン多摩共同事業体			
施設所管課	文化・生涯学習推進課			
主な業務内容	文化芸術の振興のための事業並びに市民の自主的な文化活動への支援、貸館運営、複合文化施設および駐車場の施設管理			
指定期間	始期	終期		
	令和3年12月14日	令和9年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	0	0	0
	歳出（指定管理料）	397,814	380,440	396,560

※本施設は利用料金制を採用しており、利用料金は指定管理者の取入となるため、市の歳入（使用料）は0円となる。

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予 算	収 入	指定管理料	371,600	360,000	360,000
		利用料金	75,063	138,400	137,500
		駐車場利用料金	8,700	15,300	18,700
		事業収益	138,375	59,865	84,458
		受取負担金	39,175	24,450	31,835
		その他	14,682	12,228	9,240
		収入計（a）	647,595	610,243	641,733
	支 出	人件費	229,520	230,258	241,240
		維持管理に係る経費	149,204	209,793	207,382
		事業実施に係る経費	175,527	90,494	113,561
		光熱水費	45,000	67,450	67,450
		その他	48,344	12,248	12,081
		支出計（b）	647,595	610,243	641,714
収支（a-b）			0	0	19
決 算	収 入	指定管理料	397,814	380,440	396,560
		利用料金	92,282	134,108	138,162
		駐車場利用料金	6,270	16,830	18,700
		事業収益	68,140	69,349	70,223
		受取負担金（補助金）	4,206	2,472	0
		寄付金	1,548	1,718	3,037
		その他	8,661	16,616	15,518
		収入計（c）	578,921	621,533	642,200
	支 出	人件費	215,131	232,798	232,515
		維持管理に係る経費	125,384	177,948	193,731
		事業実施に係る経費	137,889	110,454	112,214
		光熱水費	68,961	63,811	71,391
		その他	30,624	12,611	12,001
支出計（d）		577,989	597,622	621,852	
収支（c-d）			932	23,911	20,348

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	248,101	238,791	273,270
貸館利用コマ数（利用率）	4,549(26.8%)	6,185(35.8%)	6,757(41.0%)
事業実施数	146	130	128
事業参加者数	94,935	93,353	123,781
駐車場利用台数	48,102	54,185	62,947

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

1 利用状況について

令和6年度の利用者について、施設利用者数（貸館）は273,270人、事業入場者数（公演・展示関係）は123,781人であった。なお、4階こどもひろばOLIVEの利用者76,590人と周辺事業者等との連携・協力24,060人を合わせると合計で497,701人であった。貸館の利用件数は4,044件、利用料金収入は、138,162,000円であった。各施設の利用状況について、大・小ホールの利用率は約5割、練習室は約4~5割、会議室は約4~5割、新たな3諸室（キッチンラボ、クリエイティブラボ、クラフトラボ）は約1~4割という利用率であった。利用率の全体の平均値は41.0%と利用率が5割を超える諸室も複数あり、稼働率は令和5年度と比較して向上している。

2 駐車場運営について

令和6年度の利用台数について、東西駐車場合計で62,947台であった。多摩市立多摩中央公園内駐車場については、運営の一部を事業者に委託し、多摩センター近隣の駐車場と相互に割引制度の利用ができる共同利用駐車場として、引き続き運営を行っている。令和5年度と比較して利用台数は約8,700台増となった。車室数に対する回転率でみると、東駐車場（車室数84台）は1.15回/日、西駐車場（車室数82台）は0.99回/日となっており、東駐車場では1日あたり1回以上の入れ替えが生じている一方、西駐車場も1回転にほぼ近い高い利用水準で推移している。施設来館者が増えたこと、多摩センターエリアへの人流が増加している等の要因が考えられる。

3 事業の実施状況について

公演事業では、他に類例のない実力派男優8名による『リーディングシアター GOTT 神』や、ギリシャ悲劇の最高傑作『オイディプス王』の再演が好評を博した。加えて、オーケストラ、狂言、落語会、リーディングコンサート、恒例のクリスマスシーズンコンサートなど、多彩な公演を通じて、幅広い世代に鑑賞の機会を提供することができた。展示事業では、令和4年度のクラウドファンディングを活用して撮影した多摩ニュータウンの航空斜め写真と過去の写真を比較展示した特別展「変わりゆく多摩ニュータウン」が好評を得た。そのほか、企画展として「鉄道が街にやって来た」「多摩市百草・恋路稲荷神社の秘密」などを開催し、多摩市の歴史や地域の魅力を再発見していただく機会とした。市民団体等活動支援事業では、市内で長年活動を続ける8つの団体が各事業を展開し、その中には過去最高の入場者数を記録した団体もあった。地域に根ざした文化活動の広がりや成果が見られた。

4 利用者へのサービス向上と利用促進について

令和6年度はリニューアル3年目を迎え、貸館全体の稼働が安定し、稼働率41.0%、利用件数4,044件、利用者数273,270人と、いずれも前年度を上回る実績となった。利用促進のため、電話や訪問、オンラインを活用した営業活動や、来館が難しい方へのオンライン説明・手続きにも対応した。オープンスタジオの利用機会を広げるため、申込開始時期を5か月前から13か月前に変更した。広報面では「パルテノン多摩NEWS」や「パルテノン多摩スケジュール」等を通じ、市内外への情報発信を強化し、Google広告の活用による認知度向上も図った。また、ケータリング会社の紹介や、音楽大学との共催や近隣企業の協力によるイベント実施など、利便性の向上や新たな利用促進にも取り組んだ。さらに、利用者アンケートを実施し1,136団体のうち123団体に回答され、今後の施設運営に活かすための意見収集を行い、このうち一部の意見を踏まえ改善対応を行った。

5 経費削減・資金確保について

光熱水費の抑制に向けては、世界的な燃料価格の高騰や地球温暖化の影響を踏まえ、各種法令を遵守しつつ、館内空調温度設定の調整や冷暖房の切替時期の見直しを行った。また、ホール・貸室の未利用時には空調および熱源機器の停止を徹底し、節電・省エネ運転に努めた。資金確保の面では、公演事業における助成金申請について、補助要件や申請時期、人員体制等の都合から見送りとなったが、博物館の特別展においては寄付を募り、136,635円の寄付金を得ることができた。限られた予算の中で経費削減と資金確保の両立を図り、施設運営の効率化に努めた。また、従来より取り組んでいる寄附（賛助会員）及び協賛の総額は総額2,900,000円であった。

6 市民協働の推進について

市民協働の取り組みとして、博物館活動では市民研究員（古文書・植物標本整理）による継続的な調査により、地域課題解決のための基礎資料の蓄積を進めた。あわせて、市民学芸員制度のもとで多様な企画提案を協議・実施し、「地域まるごと博物館」の実現に向けた取組を継続した。令和6年度は、市民協働プログラムとして受講者118人、協力者794人、計912人が参画した。また、市民活動支援事業では、「第34回TAMA CINEMA FORUM」やチャリティーコンサート、「Brass Festa 多摩 2025」などの共催事業を実施した。加えて、公募により選定した8団体による自主事業も展開され、延べ15,764人が参加・鑑賞するなど、市民主体の文化活動の活性化に寄与した。

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>①貸館利用者アンケート。10月1日～10月31日実施。メールを一斉送信しアンケートフォームへ促した。123件回答。②事業参加者アンケート。通年実施。主催事業来場者に講演講座終了後に二次元コードによるWebアンケートフォームが中心。398件回答。③ミュージアム来訪者アンケート。通年実施。Webアンケートフォームと紙を併用し33件回答。</p>
<p>(結果の概要)</p> <p>①スタッフ対応や施設環境には高い満足度が示された一方で、予約制度の柔軟性、情報提供の一貫性、施設の細部にわたる使い勝手に対しては、改善を求める声が多く寄せられた。継続的な利用意向も強く、利用者の声を運営改善に活かすことで、今後の利用拡大につなげていく必要がある。</p> <p>②事業者アンケートでは、公演の満足度について、「大変満足・満足」と回答された方が96.4%と大変良い印象を得られた。リニューアルしたパルテノン多摩の印象について、「大変良かった・良かった」と回答された方が94.2%とこちらも大変良い印象を得られた。</p> <p>③X、パルテノン多摩HPを見ての来館が41.9%と多い。回答の年代は全年代で偏りは少ない。精度の高い分析を行うため、回答数を増やしてることが課題である。</p>

4.施設所管課の評価 実地検査日: 令和7年7月9日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者の声をサービス改善に反映	要改善
	チケットパルテノン先行予約会員制度の充実	適
市民協働の推進	市民学芸員による展示等	良
	アウトリーチ等による協働事業	適
経費の削減や歳入増加	光熱水費の抑制	適
	補助金申請による資金の確保	適
評価の説明	<p>指定管理者は、第6期3年目として、これまで蓄積したノウハウをもとに安定的な施設運営を行い、地域における文化拠点としての役割を着実に果たした。施設の特性に応じた柔軟な運営や、広報・営業・連携による稼働率向上への取り組みは、積極性が見られる。特に市民学芸員を卒業した市民の活動の場を提供する「学芸員サポーター」制度を構築した事は高く評価する。</p> <p>また、ハード・ソフト両面での安全管理や、アンケートを踏まえた改善策の実施、市民協働を通じた地域連携の深化など、事業全体の質を底上げする姿勢が継続されている。引き続き、指定管理者が果たすべき公共性と経済性の両立に向けた取組を推進し、多様な利用者ニーズへの対応とより質の高い運営を期待する。</p>	
評価項目以外の改善取組	無し	
改善指摘事項	<p>貸館利用者とミュージアム来館者に対してアンケートの回答数が少なく、十分な意見を把握できていない状況である。貸館利用者アンケートについて、現状では過去の利用者に対しメールで一斉送付を行っているが、この方法ではリアルな意見を十分に収集しきれていない可能性がある。今後は、利用直後の対面やQRコードによる回答促進など、より実態を反映した声を拾う仕組みづくりが求められる。</p>	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和6年度は、施設運営の第6期折り返しに位置づけられ、これまで蓄積された実績とノウハウを活かしながら、安定的かつ着実なマネジメントが実施された一年であった。来館者数や稼働率といった定量的な成果だけでなく、事業運営・管理体制・広報戦略・市民協働といった各側面において、より実質的な質の向上が図られた点は評価に値する。

事業面では、既存プログラムの充実と新規企画の導入がバランス良くなされ、文化施設としての社会的使命を果たすとともに、地域住民にとってのアクセス性や親しみやすさを高める工夫も随所に見られた。特に、博物館機能における「市民学芸員」や「研究員」との協働、アウトリーチ型の学芸事業、新たに「学芸員サポーター」制度の構築した事などは、単なる事業実施にとどまらず、地域文化の担い手を育てる仕組みとして機能している点が評価できる。また、若年層・子育て世代を含む幅広い世代を対象としたプログラム展開は、施設の長期的な利用者層の維持・拡大に資するものであり、拡充していくことが求められる。

施設運営においては、日常的な保守・点検体制の確立に加え、清掃・警備といった外部委託の品質管理、スタッフへの接遇研修の実施など、見えにくい重要な管理の質が来館者満足できる水準を維持していることがアンケート結果からうかがえた。また、施設間の連携（図書館・公園・カフェ等）や、周辺地域との共同イベントの積極的な展開により、文化施設としての“面”の広がりや回遊性が生まれつつある。一方、施設利用に関する予約制度や備品整備などの課題、混雑回避の導線設計、さらには稼働率の低い貸室の利用率向上など、利用者目線からの改善要望は引き続き残されている。これらに対しては、アンケート結果をはじめとする利用者からのフィードバックの収集と分析を着実にを行い、改善を積み重ねていくことが重要である。

加えて、施設の経営的な安定性に関しては、燃料価格高騰や経済情勢の変化など不確実性が増す中で、収支の弾力的な対応のほか、民間資金（寄附・協賛）の更なる獲得、補助金制度の柔軟な活用など、多様な資金調達求められる。公益財団法人と民間事業者の共同事業体として、それぞれの強みを生かした経営が期待される。

令和7年度以降は、指定期間最終年度に向けて「第6期の成果の可視化」と「次期への引き継ぎ」を並行して進める時期となる。ハード・ソフト両面での課題対応、公共施設としての価値創出、市民からの信頼性維持、収支・効率性の向上といった多角的な視点のもと、施設運営の成熟度をさらに高めることが期待される。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館		
指定管理者名		多摩コミュニティパートナーズ		
施設所管課		くらしと文化部 文化・生涯学習推進課、教育部 教育振興課		
主な業務内容		多摩市立市民活動・交流センター及び多摩市立多摩ふるさと資料館の管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和3年7月1日	令和7年3月31日	
利用料金制		有り		
選定方法		公募		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	0	0	0
	歳出（指定管理料）	44,618千円	46,658千円	49,902千円

※本施設は利用料金制を採用しており、利用料金は指定管理者の収入となるため、市の歳入（使用料）は0円となる。

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	42,973	46,658	49,902
		利用料金	5,210	5,016	5,016
		事業収入	2,625	66	66
		その他	8,852	3,775	3,918
		収入計（a）	59,660	55,515	58,902
	支出	人件費	29,070	25,150	26,320
		維持管理に係る経費	25,865	28,409	29,411
		事業実施に係る経費	2,025	60	511
		その他	2,700	1,896	2,660
		支出計（b）	59,660	55,515	58,902
収支（a-b）			0	0	0
決算	収入	指定管理料	44,618	46,658	49,902
		利用料金	4,231	4,448	4,242
		事業収入	543	306	237
		その他	3,686	4,343	4,652
		収入計（c）	53,078	55,755	59,033
	支出	人件費	24,763	24,143	25,483
		維持管理に係る経費	25,900	27,209	28,480
		事業実施に係る経費	381	405	371
		その他	2,599	2,669	2,879
		支出計（d）	53,643	54,426	57,213
収支（c-d）			-565	1,329	1,820

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定事業の実施回数	16	16	14
自主事業の実施回数	533	1,244	1,826
市民活動・交流センターの利用者数	118,864	127,320	136,153
市民活動・交流センターの稼働率	47.2%	51.1%	55.5%

※施設運営評価シート（令和6年度）より利用状況の算定指数を変更しています。

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

○維持管理について

令和4年4月1日に開館した市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館は開館3年目を迎え、安定した貸館運営を行った。

施設設備の保守点検を確実に実施するとともに、利用者の利便性や安全性を考慮し、貸室や倉庫の扉、手すりの修繕、窓ガラスの交換、施設内案内掲示の補充、冷風機やWBGT計測器の設置、駐車場の区画ラインの引き直し、陶芸窯の修理、建築設備点検で指摘された文化財事務室内の換気扇設置工事など、必要に応じた修理・改善を迅速に行った。

令和6年度は、台風や豪雨、突発的な電気設備の不具合、選挙に伴う臨時休館が合計で9日間生じた年となったが、事態に応じて関係機関への連絡、報告、予約者や利用者への連絡等を滞りなく行い、ホームページでの広報と併せて迅速に対応した。

9月には、利用団体との施設運営を協議する場として、利用者懇談会・運営協議会分科会を実施した。利用ルールの確認や利用団体の意見・要望の聴取、運用ルールの検討等を行った。また、9月と3月に利用者アンケートを実施し、利用者からの意見聴取を行った。

10月からはオンラインでのクレジットカード決済、11月からは窓口でのキャッシュレス決済を導入し、利用者への案内・説明も適宜実施した。さらに、令和7年2月には利用者の要望を踏まえ、当日の予約状況を確認できるモニターを入口に設置し、利便性の向上を図った。

職員研修についても、接遇・苦情対応研修や個人情報保護研修、事故対応研修や消防訓練、救命講習等9種の研修を実施、多摩市総合防災訓練にも参加する等、サービスと安全性の向上に努めた。

なお、市発注による駐車場の改修工事が実施され、駐車台数が14台増設、障がいのある方の駐車スペースも増設された。増設に関する利用者への周知等を行った。

○事業実施の状況

キタカイフェスタと防災フェスタ（自主事業）の大規模なイベント事業を実施し、生涯学習講座を計13回開催した。

- ・令和6年11月 キタカイフェスタ 1,633人来場
- ・令和7年3月 防災フェスタ 658人来場

指定管理事業として実施される生涯学習講座では、地域の人的ネットワークを活かした多様な講座を開催しており、月に1回以上実施した。たま広報の掲載や口コミ等により参加者が増え、定員に達する講座も増えた。令和6年度に実施した講座は以下の13件、延べ241人が参加。

「親子で遊ぼう昔あそび」「フラワーアレンジメント講座」「水無月演奏会」「水墨画体験」「草木染め」「セルフケア講座」「ハロウィン工作体験」「クリスマスリース作り教室」「クリスマスコンサート」「ミニ門松づくり」「音あそび」「めかい作り講座」「親子ヨガ」

指定管理者の自主事業では、定期・通年教室として体操教室等の24講座を実施し、延べ9,387人が参加。多様な世代のニーズに対応し、地域住民への認知度向上に寄与している。また利用予定のない空き室を活用する個人開放事業については令和4年度より体育館・レクルーム・創作活動室・音楽室で実施してきたが、令和6年度には自習室用に会議室3の空き枠を開放し、体育館やグラウンドの半面利用も可能とする等利用範囲を広げた結果、稼働率の向上に大きく寄与した。

○収支状況

(1) 収入について

貸館利用料収入は、臨時休館（9日間）の影響もあり、令和5年度比で約5%減少した。自主事業は実施回数を増やし、前年比で約120%の増収となった。駐車場利用料は、10月に実施された市の改修工事により14台増設されたことと利用者数の増加により、前年度比で260,500円の増収となった。

(2) 支出について

人件費は賃金上昇により年々増加しているが、アルバイト人員の配置を利用状況に応じて調整し、外部委託よりも経験豊富な社員を活用するなど、指定管理者の工夫により増加分を抑制した。

○利用状況

昨年度に引き続き、基本協定における成果指標であった年間来館者数120,000人を大幅に超え、令和5年度実績である127,320人より8,833人多い、136,153人を達成した。また、同協定で成果指標とされていた団体登録数は200団体であるが、令和6年度は355団体となり、昨年度より45団体増える実績となった。また、令和6年度は貸館・自主事業を合わせた全体稼働率は55.5%となり、昨年度より4%上昇した。部屋別では、体育館が平均81.3%となり、利用団体が希望する日時に予約をとりにくい状況も生じるほど高い人気を維持している。昨年度に引き続き、他室よりやや稼働率が低い創作活動室2については、令和5年度は19.5%だったが令和6年度は25.0%に増加、会議室3は、令和5年度は16.3%だったが令和6年度には33.4%に増加した。自主事業としての個人開放を行う等の事業者の工夫によって昨年度より改善した結果である。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
<p>団体利用・通年教室・個人開放利用者及び子育て交流室の利用者向けに年度内に2回実施し、合計581件の回答を得た。一回目の実施期間は、令和6年9月1日～9月30日で回答数は360件、二回目の実施期間は令和7年3月1日～3月31日で回答数は221件だった。アンケート用紙は可能な限り手渡しで配布し、回収箱を施設受付に設置して回収するとともにスマートフォンによるWEB回答も可能とした。</p>
(結果の概要)
<p>2回のアンケート結果全体を通してみると、回答者の年齢は70歳以上が全体の47%、60歳以上を含めると66%と過半数を占めており、利用者の多くが高年齢層であった。</p> <p>施設を利用する理由(複数回答可)としては、団体利用者の選択数が多いと推測される「団体利用のため」の他は「家や会社から近い」「利用料金が安い」がそれぞれ15%となっており、当施設が身近で手頃な料金の施設として選ばれている実態がうかがえる。職員対応に関する満足度については、「言葉遣い」に対して「満足」と回答した割合が77%（「やや満足」と合わせると98%）となった。「挨拶」に対しては「満足」が75%（「やや満足」と合わせると97%）、「身だしなみ」については「満足」が79%（「やや満足」と合わせると98%）と、いずれも高い評価が得られた。</p> <p>また、施設の設置目的の一つである「当施設を通じて他の利用者の方々と交流が出来ていると感じますか?」という設問については、「新たな交流ができています」との回答は23%にとどまったが、「以前と変わらず交流ができています」との回答を加えると、全体の49%が「交流ができています」と回答した。一方で、「交流ができていない」との回答も22%あり、利用者同士の一定の交流は生じているものの、さらなる促進の余地があるといえる。</p> <p>個別意見では、「人気のある運動講座の回数を増やしてほしい」「カフェのメニューを充実させてほしい」など、多様な意見が寄せられた。これらの意見については、対応可能なものは速やかに対応し、実施が困難なものについては理由を添えて回答した。寄せられた意見およびその回答内容は、アンケートの集計結果とともにホームページに掲載し、利用者の声を聴取し、反映しようとする一定の努力が認められる。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年7月2日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者懇談会を実施し、施設運営の情報提供及び利用者の意見聴取を行ったか。	適
	生涯学習講座を計画通りに実施したか。	適
市民協働の推進	地域交流の促進のための事業を実施したか。	適
	市民が主体的に施設の運営に参画する運営協議会を開催し、利用ルールなどについて協議し、より良い運営につながるよう努めたか。	適
経費の削減や歳入増加	稼働率の低い貸室の利用を促進し、利用者の増加に努めたか。	良
評価の説明	令和6年度の指定管理者に対する評価については、指定管理者から提出された資料を基に行った書類審査と、令和7年7月2日にモニタリングチェックシート等を用いて実地調査を行った。書類審査及び実地調査を行った結果、適正な管理運営、利用者サービスの維持・向上、経費削減や歳入増加等の対応が出来ていることが確認できた。とりわけ、稼働率の低い貸室を自主事業を充実させることで稼働率や利用者の増加につながったことについては高く評価する。	
評価項目以外の改善取組	なし	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

○評価の総括

市民活動・交流センターは、市民活動の場を提供するとともに、市民活動の支援および市民間の交流を促進し、豊かな地域社会の実現を図ることを目的として設置された施設である。必要最小限の改修を基本方針としており、老朽化や不具合のある箇所については、市と指定管理者が協議のうえ、計画的な補修・改善工事を実施している。

令和6年度は開館3年目として、施設内の安全管理を徹底するとともに、貸館を中心とした柔軟な施設運営と自主事業の充実に取り組んだ。その結果、全体の平均稼働率は55.5%、貸館利用における団体利用の平均稼働率は41.0%となった。

指定管理事業では、開館記念事業や「キタカイフェスタ」等のイベント、毎月の生涯学習講座の企画・広報・実施までを安定的に行い、地域の人的資源を生かした企画事業を実施した。また、利用団体が主体的に運営協議の場に参画するための運営協議会を開催し、利用団体や地域の方々との交流、意見交換会を通じて多様な市民の活動をつなぎ、生き生きとした地域社会づくりに寄与することを目指した。運営協議会・分科会では、貸館の運用ルールについて利用団体の代表同士で話し合い、よりよい運営に向けた調整を行った。さらに、自主事業を活用した空き室の有効活用や、地域住民への広報にも力を入れ、稼働率向上を図った。

多摩ふるさと資料館においては、夏休みに開催された「多摩ふるさと資料館夏休み企画展&旧多摩聖蹟記念館夏季出張展」において、指定管理者のスタッフがクイズカードの回収や記念品の配布を行った。また、「キタカイフェスタ」（令和6年11月）や「防災フェスタ」（令和7年3月）では、来館者の増加を目的として資料館の展示スペースをスタンプラリーのポイント項目に入れており、ふるさと資料館の資源を活用する取組を自発的・積極的に行っている点は評価でき、今後の継続実施が期待される。

市や関連団体、地域との連携においては、障がい者就労支援施設「多摩市生涯福祉ネットワークたまげんき」と連携した菓子・小物販売、「NPO紬」との野菜販売を継続しており、恒例事業として定着しつつある。社会福祉協議会による「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」会議には、施設職員が定期的に参加しており、付近の豊ヶ丘小学校の総合学習事業にも協力し、その体験発表会に参加する等、地域団体や教育機関との交流を持った。さらに、子育て交流室では唐木田児童館による「子育て出張ひろば」を月1回開催し、「多摩市食べきり協力店」やクールシェア協賛店への登録、ゴーヤ栽培によるグリーンカーテン事業への参加など、市関係課とも連携を進めた。また、令和4年度から自主的に導入した「健幸Spot」（血圧・体重・筋肉量等の測定）については、令和6年度の利用者数が785人に達し、利用が徐々に広がっている。

○今後の課題・方向性

今後は、これまでの3年間の運営経験を活かし、引き続き施設内の安全管理に努めるとともに、稼働率のさらなる向上と市民間の交流促進、多世代の利用促進を目指す。同時に、負担が増しつつある植栽管理等の管理業務や施設修繕については、市との協議の中で必要予算を確保し、計画的に実施する必要がある。柔軟な運営によって、市民活動および交流の拠点としての役割をより一層果たすとともに、多摩ふるさと資料館との連携事業や生涯学習講座の充実を通じて、地域の暮らしや文化資源の魅力を発見・共有・継承する場としての機能がさらに発揮されることも期待される。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		関戸・一ノ宮コミュニティセンター（関・一つむぎ館）		
指定管理者名		関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		関戸・一ノ宮コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	2,312	2,230	2,309
	歳出（指定管理料）	17,870	18,692	19,394

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	17,870	18,692	19,394
		利用料金	-	-	-
		事業収入	515	561	532
		その他	827	393	370
		収入計（a）	19,212	19,646	20,296
	支出	人件費	14,674	15,258	15,949
		維持管理に係る経費	2,100	2,155	2,102
		事業実施に係る経費	2,025	2,154	2,209
		その他	413	79	36
	支出計（b）	19,212	19,646	20,296	
収支（a-b）		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	17,870	18,692	19,394
		利用料金	-	-	-
		事業収入	353	419	514
		その他	830	389	368
		収入計（c）	19,053	19,500	20,276
	支出	人件費	14,313	14,867	15,603
		維持管理に係る経費	3,160	2,673	2,269
		事業実施に係る経費	1,217	1,621	1,715
		その他	-	-	-
	支出計（d）	18,690	19,161	19,587	
収支（c-d）		363	339	689	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	33,552人	39,076人	40,377人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	20事業	21事業	21事業
事業参加者数	1,386人	3,081人	3,640人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、令和5年度から1,301人増え、40,377人の利用があった。部屋の利用率も55%と他のコミュニティセンターよりも高く、特に、1番広い会議室1の利用率が高い。また、駅に近い立地もあって、夜間の時間帯の利用率もコミュニティセンターの中で最も高く、一日を通して利用率が高くなっている。令和7年1月からは、月のコマ数制限を5→8コマにしたことにより、コマの利用も75コマ増えている。

自主事業についてはどれも人気で、特に年に6回実施している「キネマ館」は、募集当日に予約が埋まることも多く、定員を増やすなどの対策を行っている。また、「こどもまつり」「つむぎ館まつり」「音フェス」の3大まつりは参加者が多く、中でも「つむぎ館まつり」の参加者は2,000人にのぼった。新たに音楽団体の参加を実施した。広報誌でもまつりのお知らせを掲載する号は、11,000枚（地域の全宅に）を配布し、イベント周知にも力を入れている。様々な事業を児童館や公民館、地元の団体と連携しながら実施しており、つむぎ館が地域に根付き、地域の方々と良好な関係を築くことができている。年間の事業参加者も前年度から700人ほど増えて、活気のあるコミュニティセンターになっている。

収入および支出に関しては、近年の物価上昇の影響で消耗品費と通信費が予算を上回っている。また、オーディオセットを購入したため、備品購入費も予算を上回っている。しかし、人件費・維持管理に係る経費は前年度から減少した一方で、事業実施に係る経費が増加しており、「つむぎ館まつり」など事業内容の充実を図ったことがうかがえる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
利用者懇談会 1回 9月7日 参加団体37団体
(結果の概要)
令和6年度から導入したキャッシュレス決済に関する質問がほとんどで、すべて回答済み。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年5月29日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	貸出を行っていない集会室の午後枠を有効活用するため、フリースペースとして利用者が自由に使える「みんなの日」を実施したか	適
市民協働の推進	地域の親子が参加する「こどもまつり」の開催等、世代間交流事業を実施したか（1種）	適
	「せいせき桜まつり」や「つむぎ館まつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（5種）	適
	「せいせき音フェス」への場所の提供や自治会活動への協力など、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進項目では、公民館との「関戸の歴史スポットウォーキング」や児童館など地域団体と協力して事業を実施し、連携・交流が図られたので「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	利用者からの声に対してはその都度対応しており、利用者からも満足の声が届いている。日頃からスタッフが利用者寄り添って対応していることがうかがえる。	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

関・一つむぎ館はコミュニティセンターの中でも利用率が高く、常時来館者で賑わっている施設である。また、令和7年度検討課題でもある夜間利用についても利用が多く、他のコミュニティセンターでも参考にできることがあれば連携していきたい。運営協議会が企画する事業も人気で、ほとんどの事業が定員に達するほどである。1・2階は、健診等で乳幼児を含む子ども、その保護者の利用が多いが、コミュニティセンター部分である3・4階は、高齢者の利用の方が多いため、幅広い世代に利用されるように、今後、特に子どもやその親世代も含めた世代間交流の事業を増やし、幅広い世代で賑わう一つむぎ館になることを期待したい。

運営協議会委員の高齢化や担い手不足の課題は、行事の時に手伝ってくれた方や知り合いの方への声かけ等対策をしているが、地域の大学等との連携で若い力を取り入れていくことも必要である。今後も地域と協力しながら、関戸・一ノ宮地域を盛り上げていくことを期待したい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名	桜ヶ丘コミュニティセンター（ゆう桜ヶ丘）			
指定管理者名	桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会			
施設所管課	協創推進室			
主な業務内容	桜ヶ丘コミュニティセンターの管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和5年4月1日	令和10年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	611	634	576
	歳出（指定管理料）	17,274	18,446	19,198

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予 算	収 入	指定管理料	18,061	18,446	19,198
		利用料金	-		
		事業収入	1,008	849	988
		その他	922	1,050	835
		収入計（a）	19,991	20,345	21,021
	支 出	人件費	14,712	15,053	15,883
		維持管理に係る経費	2,225	2,428	1,973
		事業実施に係る経費	2,860	2,673	3,134
		その他	194	191	31
		支出計（b）	19,991	20,345	21,021
収支（a-b）			0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	17,274	18,446	19,198
		利用料金	-		
		事業収入	809	972	1,140
		その他	864	1,044	828
		収入計（c）	18,947	20,462	21,166
	支 出	人件費	14,164	15,073	15,970
		維持管理に係る経費	2,120	1,949	1,888
		事業実施に係る経費	1,646	2,627	2,593
		その他	18	28	9
		支出計（d）	17,948	19,677	20,460
収支（c-d）			999	785	706

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	16,823人	18,138人	18,182人
貸部屋数	6室	6室	6室
事業実施数	26事業	33事業	37事業
事業参加者数	2,134人	6,843人	6,562人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、コロナ明けの利用人数急増も落ち着きを見せ、令和5年度と比較し、50名程度の微増に落ち着いた。引き続き感染対策を講じた上で安心して利用できる環境整備を継続していく。また、飲食を解禁したことによって調理室の利用も増えている。

自主事業について、大きなイベントとして「夏まつり」は大規模改修工事前の最後の開催となり、非常に多くの参加者があった。

昨年から新たに実施した事業である「さくらランチ」は非常に好評で、併設する児童館の事業ピッポッパ参加者を対象としていたが一般の方からも要望が出るほどであった。また、昨年度より野菜作り相談会を苗配布講習会を含めて全7回実施し、毎回10～20名の参加者があった。一昨年新規事業として始まった「みんなのピアノ」は引き続き好評で参加者も増えている。自宅に引きこもっている人を外に連れ出すための事業であるカフェゆうは8月を除いた毎月第3金曜日に全9回実施し、コンサートや体操、映画観覧会など様々なイベントを開催し、多い時で70名を超える参加者があった。また、地域団体との協働事業として「平和展」（平和・人権課）、「サマーコンサート 心音（ここね）」（桜ヶ丘児童館）等、世代間交流事業として桜ヶ丘児童館と共催の筍堀り、うどん打ち等を実施し、地域への楽しみの提供とコミュニティセンターとしての役割を果たした。

収入・支出ともに令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少傾向が続いていたが、令和4年度以降徐々に回復傾向にある。中止していた事業の復活や新規事業の実施を図り、コロナ以前に戻っている。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
利用者懇談会 1回 令和7年2月8日 参加団体3団体
(結果の概要)
経年劣化による施設の不具合については、今年度に行われる大規模改修工事でほとんどが改善できる見込み。懇談会では大規模改修による休館中の代替施設についての質問があった。集会所や他コミセンの活用を提案した。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	風呂跡地のフリースペースであるサロンを有効活用するため、赤ちゃんから高齢者まで楽しめる憩いの場としての事業「カフェゆう」を実施したか	適
市民協働の推進	併設されている桜ヶ丘児童館との季節行事の共催等、世代間交流事業を実施したか（6種）	適
	「夏まつり」等、地域団体等や自治会と連携し、地域交流事業を実施したか（2種）	適
	「ゆうあい学館」等、地域団体の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	世代間交流事業、地域交流事業を含め数々の事業を実施しており、事業数では全コミュニティセンターでも上位になっている。新規事業も行って積極的にコミュニティセンターの運営を行っている。	
評価項目以外の改善取組		
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会は、従来から館の雰囲気を重視しながら、住民にとって楽しいと思えるコミュニティセンターになることを目標にしている。コロナ禍が明けて以前の賑わいもどってきたが、引き続き感染対策を徹底したうえで、昨年も夏まつりを継続させたり、新規事業も織り交ぜながら事業を実施している。

他の運営協議会と同様に、運営協議会委員のなり手不足や高齢化が課題となっているが、運営協議会としてのPRの仕方や地域の団体との接点を増やし、事業開催時には、運営協議会というものを多く知っていただく工夫をしながら、人員確保に努めている。

今後、施設の大規模改修も控えており、市と協力しながら、市民に親しみを持たれるコミュニティセンターを目標に館の運営を心がけていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		乞田・貝取コミュニティセンター（乞田・貝取ふれあい館）		
指定管理者名		乞田・貝取コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		乞田・貝取コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	558	587	578
	歳出（指定管理料）	17,952	17,512	19,152

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	17,952	18,412	19,152
		利用料金	-	-	-
		事業収入	557	743	750
		その他	1,236	824	584
		収入計（a）	19,745	19,979	20,486
	支出	人件費	14,652	14,804	15,404
		維持管理に係る経費	2,199	2,185	2,298
		事業実施に係る経費	2,194	2,340	2,162
		その他	700	650	622
	支出計（b）	19,745	19,979	20,486	
収支（a-b）		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	17,952	17,512	19,152
		利用料金	-	-	-
		事業収入	86	420	568
		その他	1,231	823	585
		収入計（c）	19,269	18,755	20,305
	支出	人件費	14,293	14,509	15,381
		維持管理に係る経費	3,097	2,252	2,545
		事業実施に係る経費	970	1,422	1,782
		その他	97	0	0
	支出計（d）	18,457	18,183	19,708	
収支（c-d）		812	572	597	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	12,801人	14,451人	14,467人
貸部屋数	3室	3室	3室
事業実施数	13事業	14事業	12事業
事業参加者数	1,826人	1,951人	1,860人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、令和5年度と比較すると、+16人で横ばいとなっている。利用登録団体数は55団体から60団体へと増えており、これはマンションの管理組合等の利用と思われる。

令和6年度は、引き続き感染拡大防止策を講じながらも、徐々に例年実施している事業展開に戻りつつある。

ふれあい館の伝統行事の1つである、秋そばまつりについては、コロナ禍以前は実行委員会形式により、そば作りを中心とした地域密着型のイベントとして実施してきたが、コロナ禍では従来の形式を一時的に見直し、運営委員会主導の形式に変更しつつ、そば打ち技術の継承と保存に努めてきた。令和6年度は従来の実行委員会形式を復活させて、秋そばまつりを開催した。地域住民の参加意欲も高く、活気あるイベントとして地域に再び根付く手ごたえを感じた。また、どんど焼きについても以前の活気が戻りつつあり、運営委員に交じり東愛宕中学生たちも事前準備に参加した。また、第三小学校4年生の社会科の授業の一環として、ミニどんど焼きも作成。世代間の交流が図られた事業となった。

令和5年度からスタートした「ものづくり教室」は、再び「夏のDayキャンプ」と称し、1日だけの開催であったが、野外でテントを張り、カレー作り、消防団の協力を得ての放水体験、さらに工作など様々な体験を用意し、保護者ともども大変好評を得た。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
 利用者アンケート 1回 令和7年2月1日～令和7年2月25日 回答数22団体
 利用者懇談会 1回 令和7年3月8日 参加団体6団体

(結果の概要)
 アンケート集計結果は、職員の接客態度について「良い」「やや良い」が昨年度79%であったのに対し、今年度は96%と増加しており、普段からの来館者への丁寧な対応を心がけるとともに、来館者からは満足していただいていることが分かる。

利用者懇談会については、団体から意見のあった項目については検討を行い、「ホールの音響の管理」については、誰でもわかるように接続方法の表示を改善する等、利用者の声に対応している。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年6月3日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	隣接するふれあい広場の遊具点検の実施やゴミ拾い等、安全確認や適正管理を行っているか	適
市民協働の推進	地域の三世代交流を図ることを目的とした「夏休みラジオ体操」等、世代間交流事業を実施したか（1種）	適
	「秋そばまつり」や「どんど焼き」等、地域団体等と連携を取り、地域交流事業を実施したか（2種）	適
	商店会の「桜まつり」の後援等、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、館の伝統行事である「どんど焼き」は以前の活気を取り戻しつつあり、世代間交流も図られ、「秋そばまつり」は運営形態をコロナ禍以前に戻し、創意工夫しながら継続して事業を実施したことから、「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

乞田・貝取コミュニティセンター運営協議会は、「集い、学び、憩う三世代」という運営スローガンを継続して実践している。

1階のフリースペースにはふれあい公園で遊ぶ子どもたちが多く来館し、また小学校のPTAの空き時間等で保護者が訪問され賑わいを見せている。乞田・貝取ふれあい館恒例の秋そばまつり、どんど焼きの2大事業がコロナ禍以降、徐々に盛り上がりを見せ、それにあわせ館の賑わいが戻るように活動した。

また、運営委員の高齢化が顕著となり、今後の持続的な活動のために、現状に即した組織体制の再編を図った。これは、地域活動を担う人材の確保や世代交代を見据えた重要な取組みであり、ふれあい館の今後の運営に大きな意味を持つものとなった。

今後は、引き続き高齢化への対応と世代間の参画促進を両立させる運営体制の整備を進め、地域のふれあいと交流の拠点としての役割をさらに強化し、運営していただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		鶴牧・落合・南野コミュニティセンター（TOM HOUSE）		
指定管理者名		鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		鶴牧・落合・南野コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	842	1,337	1,445
	歳出（指定管理料）	15,648	17,803	19,083

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	16,347	18,280	19,083
		利用料金	-	-	-
		事業収入	405	824	902
		その他	792	146	578
		収入計（a）	17,544	19,250	20,563
	支出	人件費	13,064	14,938	15,698
		維持管理に係る経費	2,109	1,779	1,937
		事業実施に係る経費	1,790	2,385	2,285
		その他	581	148	643
		支出計（b）	17,544	19,250	20,563
収支（a-b）			0	0	0
決算	収入	指定管理料	15,648	17,803	19,083
		利用料金	-	-	-
		事業収入	361	813	975
		その他	747	138	580
		収入計（c）	16,756	18,754	20,638
	支出	人件費	12,192	14,907	15,706
		維持管理に係る経費	2,953	1,546	2,381
		事業実施に係る経費	1,533	1,783	1,736
		その他	0	0	0
		支出計（d）	16,678	18,236	19,823
収支（c-d）			78	518	815

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	21,158人	42,821人	44,274人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	17事業	23事業	25事業
事業参加者数	926人	4,205人	4,849人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。</p> <p>施設利用については、令和5年度と比較すると、利用人数は+1,453人で44,274人となり、団体数も7団体増えた。駅には近くないが、夜間利用も増加している。特に、音楽室の個人利用を認めたことにより、音楽室は夜間でも40%前後の利用率となっている。サックス・ギター・チェロなど楽器の練習をする方にぎわっている。貸室利用も多く、希望が被り利用者同士で調整が必要となることもあるが、様々な抽選方法を用意し、対応している。フリースペースも多くの地域住民の憩いの場となっている。</p> <p>自主事業について、トムハウスまつりを2日間開催し2700人の参加があった。ホールでのカラオケ大会に始まり、こどもからお年寄りまで幅広い世代に楽しまれた。予定よりも多くの人の来館があり、出店では、早くに完売してしまったところもあり、次年度への課題となった。多摩市社会福祉協議会と共催事業「ふれあいトムとも」はスタートから14年目を迎え、年間5回開催で約200人の参加があり、トムハウスエリアの団体と個人のさまざまな情報共有を実現し、有益な情報発信を行うことができた。市および都委託事業「スマホ相談会」は毎回50人前後の参加があり、盛況だった。さらにニーズがあることを想定して、実施に積極的に取り組む予定。</p> <p>新たに「みんなで歌いましょう」というコンサート部の事業が行われ、61人の参加があった。福祉カラオケに続き、非常に人気の事業になりそうである。一方で、こども向け企画の版画・絵画教室はなかなか盛り上がりせず、世代間交流事業が少なく、高齢者が多く利用している印象だ。</p> <p>収入および支出に関しては、近年の物価上昇により人件費・維持管理費が増加している。事業実施に係る経費は、トムハウスコンサートの出演者を調整ができず、事業を中止したため、減少している。</p>

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>利用者懇談会 1回 令和7年2月22日 参加団体19団体 投書箱設置</p>
<p>(結果の概要)</p> <p>調理室の炊飯器の経年劣化の指摘を受け、購入した。さらに、調理後の床の汚れに対しては希望者にワイパーシートを渡す対策を行った。会議室2にホワイトボードを設置した。今回の利用者懇談会では、参加者をグループに分けて運営協議会員もその中に加わり、意見交換及び利用の説明等を行うことができた。雰囲気も良くそれぞれのグループも活発に活動の内容やサークルの現状等を聞くことができた。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年5月29日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	改修後に新たに設置した、「この場ルーム」は適切に運用されているか	適
市民協働の推進	「小学生のプログラミング教室」や「子ども絵画教室」等、世代間交流事業を実施したか（4種）	要改善
	「トムハウスまつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（2種）	適
	地域福祉推進委員の拠点施設として会議場所を提供するなど、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、トムハウスまつりの2日間開催で世代間交流・地域交流を遂行できた。また、物価高騰の影響を受け、利用者の負担にならない範囲で参加費を高くする等、事業の支出と収入を適正に判断し、運営できたことから、「適」とする。	
評価項目以外の改善取組	利用者懇談会では、グループ形式で行い利用者と運営協議会で活発な意見交換が行われ、非常に良かった。	
改善指摘事項	世代間交流事業が少ないため、こどもから大人まで幅広い世代が楽しめる事業を実施してほしい。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

鶴牧・落合・南野コミュニティセンターは、貸室の利用率や事業の盛り上がりから、地域住民の明るい活動場所になっていることがうかがえる。しかし、カラオケやパソコンサロンなど主に高齢者向けの企画が多く、こどもから高齢者までの世代間交流事業が少ないことが課題だ。今後は、児童館や大学などとも連携を図り、こども向け企画も充実させ、幅広い世代が楽しめるコミュニティセンターになることを期待している。

広報誌配布などにも力を入れて事業への参加を促し、地域とつながる機会を提供している。他のコミュニティセンターと同様に、運営協議会委員の高齢化が課題となっているが、事業に手伝ってくれた方や参加してくれた方一人ひとり声をかけて運営協議会への加入を促進している。これからも地域のコミュニティ活動を支援し、トムハウスを利用される方々のコミュニケーションの場として、気軽に楽しく利用できるように、施設の有効活用と適切な運用を行っていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		貝取コミュニティセンター（貝取こぶし館）		
指定管理者名		貝取コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		貝取コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	1,767	1,668	1,622
	歳出（指定管理料）	17,595	18,106	19,326

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	18,038	18,583	19,326
		利用料金	-	-	-
		事業収入	2,521	1,495	1,813
		その他	267	1,034	1,022
		収入計 (a)	20,826	21,112	22,161
	支出	人件費	14,669	15,086	15,828
		維持管理に係る経費	2,016	2,428	1,918
		事業実施に係る経費	3,843	3,314	3,965
		その他	298	284	450
	支出計 (b)	20,826	21,112	22,161	
収支 (a-b)		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	17,595	18,106	19,326
		利用料金	-	-	-
		事業収入	2,357	2,015	2,242
		その他	301	1,056	1,019
		収入計 (c)	20,253	21,177	22,587
	支出	人件費	14,215	14,523	15,203
		維持管理に係る経費	1,763	2,430	2,046
		事業実施に係る経費	3,292	3,262	3,857
		その他	0	0	520
	支出計 (d)	19,270	20,215	21,626	
収支 (c-d)		983	962	961	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	69,599人	46,256人	46,717人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	23事業	25事業	24事業
事業参加者数	2,105人	4,547人	5,047人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、新型コロナウイルス感染症流行前の賑わいに戻ってきている。中でも貝取こぶし館はカラオケ活動が非常に盛んで、カラオケ設備のある和室は常に利用があり、非常に人気である。

自主事業について、規模は従来どおりに戻り、参加者数も増えたことで活気が戻ってきて一つひとつの事業がとても盛り上がった。

夏と冬に計2回開催した「工作の日」では、Tシャツペイントや多摩そばづくりなど、普段家ではできないことをプログラムに入れて参加者に楽しんでもらった。

「こぶし館まつり」では、今年度も青陵中の和太鼓部がオープニングを盛り上げた。前日とは打って変わって好天に恵まれ、季節外れの猛暑となったことから飲み物の売り上げが伸び、早々に完売する模擬店もあり大盛況であった。また今年初の取組みとしてピロティでミニSLを走らせたところ、子どもたちがとても喜んで大人気のアトラクションとなった。

貝取こぶし館の事業の多くは、地域団体との共催や地域ボランティアの協力を得ているものが多い。社会福祉協議会やネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな、青少協地区委員など様々な団体と交流し、普段から関係を築いている。また、普段貝取こぶし館を利用している団体に事業へ参加してもらうこともあり、登録団体とも良好な関係であることがうかがえる。

収入・支出については、コロナ禍明けの影響及び開館30周年の節目の年であるからか事業費の大幅な増加が見られるが、事業収入も大幅に増加しているため全体的にはバランスが取れている。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)

利用者懇談会 1回 令和7年2月1日 参加団体17団体

アンケート 1回 令和6年11月17日 回答数26枚

(結果の概要)

利用者懇談会では一部で和室のふすまについて（カラオケの時に邪魔で勝手に外す人がいる）の意見がでたが、全体的に和気あいあいとした雰囲気、利用者との日頃のコミュニケーションがとれていることが伺えた。

こぶし館まつりのアンケートでは、「親しめる」「来年も来たい」という感想が多く、貝取こぶし館での事業を楽しみにしている方が多くいることが分かった。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	ギャラリースペースで四季折々の展示を行い、来館者が楽しめる工夫を行っているか	適
市民協働の推進	近隣の学校で行う「グラウンドゴルフ」や「大人と子どもの工作の日」等、世代間交流事業を実施したか（4種）	良
	「こぶし館文化祭」や「こぶし館まつり」や「カラオケ交流会」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（4種）	良
	「ロビーコンサート」等、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目では、令和5年度「グラウンドゴルフ」が2回とも雨天により中止になったことから、代替事業として「スポーツウェルネス吹矢」を開催するなどの工夫が見られたため「良」とした。また、「こぶし館まつり」では今年も近隣中学校の和太鼓部に演奏してもらい地域の学生の活躍の場を作ったことから、「良」とする。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>貝取コミュニティセンター運営協議会は、地域にふさわしい新たな文化を創られることを願い、明るく開かれた運営協議会を目指し日々活動している。</p> <p>令和6年度は前年度雨天により2度中止となってしまった「グラウンドゴルフ」に加えて、天候の影響を受けない「スポーツウェルネス吹矢」を実施するなど、随時事業内容の見直しや工夫を図り、参加者が飽きないような企画をしている。運営協議会のメンバー、スタッフが自ら楽しんで事業を開催しようという意思のもと活動しており、いつも活気に溢れている。</p> <p>6月にはこぶし館創立30周年式典が行われ、市長をはじめとした多くの来賓の方々を迎え、盛大に催すことができた。ロビーでの記念撮影の後、ホールでの祝賀会が行われ、30年間支えていただいた皆さんの労をねぎらう賑やかな会となった。</p> <p>コミュニティセンター全館共通の課題として、運営委員の高齢化や委員、役員のなり手不足がある。運営委員のやる気はあるものの高齢化は避けられないため、貝取こぶし館は地域と一緒に実施できる事業へ徐々にシフトしていく方向性をとっている。今年度より試行実施している協創サポーターの効果的な活用などで運営協議会の負担を軽減する工夫をしていただきたい。</p>

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		聖ヶ丘コミュニティセンター（ひじり館）		
指定管理者名		聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		聖ヶ丘コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	1,188	1,196	1,253
	歳出（指定管理料）	18,022	18,591	19,399

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	18,022	18,591	19,399
		利用料金	-		
		事業収入	1,080	1,055	1,275
		その他	939	899	1,019
		収入計（a）	20,041	20,545	21,693
	支出	人件費	14,593	15,087	15,944
		維持管理に係る経費	2,099	2,076	2,096
		事業実施に係る経費	3,226	3,248	3,273
		その他	123	134	380
		支出計（b）	20,041	20,545	21,693
収支（a-b）		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	18,022	18,591	19,399
		利用料金	-		
		事業収入	809	1,118	1,394
		その他	926	922	1,061
		収入計（c）	19,757	20,631	21,854
	支出	人件費	14,504	14,985	15,517
		維持管理に係る経費	2,059	2,129	2,636
		事業実施に係る経費	2,350	2,558	2,741
		その他	0	0	0
		支出計（d）	18,913	19,672	20,894
収支（c-d）		844	959	960	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	40,756人	55,770人	59,151人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	25事業	37事業	34事業
事業参加者数	3,324人	6,736人	6,516人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、利用者人数は令和5年度と比較して、3,000人以上の増加となったものの、利用率については40.3%から37.9%へ微減と、コロナ禍明けの一時の大幅な増加は収まり、落ち着きを取り戻してきた。また、飲食についても制限を緩和したことによって利用の増えた調理室は利用者数、利用率とともにさらに増加した。

自主事業についても、コロナ前の状況に戻ってきている。子ども夏まつりは、地域の夏まつりであるふるさと夏まつりとあわせて様々な世代の皆さんが参加して大変盛り上がった。「ひじり館まつり」を11月2日、3日に実施し、近隣小学校生徒のブラスバンドの演奏を皮切りに大変な盛り上がりを見せた。スポーツ事業としては、誰でもできるニュースポーツであるポッチャや吹矢の体験会も実施した。今年度も「ミニマラソン大会」を実施し、多くの地域の方の協力をいただいた。

毎年地域団体との意見交換の場として「地域連絡会」を開催している。ひじり館は地域の団体が協力した事業を積極的に行っており、日頃から連携がとれている。令和6年度も、多摩大学と青少協と共催の「おにぎりを持って食べる会」を5回実施し、今年度からは聖ヶ丘中学校生徒も毎回ボランティアとして参加して、小学生の指導と会の進行のお手伝いをいただき、世代間の交流を深めることができた。

収入・支出については、令和7年度に行う30周年記念式典の準備のため消耗品費と備品費が予算を大幅に超えて執行された。支出の増額分については実施事業数を減らさずに事業内容を工夫することで捻出し、前年度並みの繰越額の確保ができた。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)

利用者懇談会 1回 令和6年6月8日 参加団体24団体

利用者懇談会前にアンケート調査を実施 9月3日～10月2日

(結果の概要)

利用者懇談会の際は、各団体からは設備の更新などの要望があり、ひじり館としては今後の大規模改修時に対応するとの回答をした。対応可能な要望に対しては速やかに取り組み、利用者に寄り添った対応をしている。

利用者懇談会に参加できなかった方の意見も聞くため、懇談会実施後に利用者に対してアンケート調査を行った。施設の不具合による改善要望や談話室のルールを変更したことによる意見があがった。あがった意見は役員会で検討後に意見の内容と検討結果をロビーで提示した。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年5月30日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	歩行者専用道路や商店会に隣接するひじり館敷地内の花壇の管理を行い、来館者だけでなく近隣住民にとって心地よい空間を作ることができたか	適
市民協働の推進	併設されている図書館や学童クラブとの「子ども夏まつり」の共催等、世代間交流事業を実施したか（3種）	適
	多摩大学や青少協等の協力を得て実施する「みんなの食卓プロジェクト」等、地域団体と連携し、地域交流事業を実施したか（5種）	良
	桜の丘学園の校外学習受け入れや地域連絡会の開催など、地域団体等の活動と連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、「みんなの食卓プロジェクト」は地域の小・中学校と協力関係を築いている地域交流・世代間交流を兼ねる事業であり、参加者も増えていることから、「良」とした。また、その他の事業についても工夫しながら実施ができたため「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>ひじり館では新型コロナウイルス感染症への対策を他館より厳重に行っており、徐々に様々な制限を緩和しているものの、令和6年度にも新型コロナウイルスの影響を受け中止した事業があった。利用者からも感染症対策を緩和してほしい旨の意見が度々あがるとのこと。またひじり館は、利用者懇談会や地域連絡会といった様々な声を聴く機会を大事にしており、令和6年度もどちらも対面で実施した。日頃から連携をとっている自治会や近隣の学校、青少協などが一堂に会して意見交換を行うことで地域コミュニティの醸成を図っている。今後も連携を取りながら、共催事業などの実施を通じて聖ヶ丘地域を盛り上げていきたい。</p> <p>コミュニティセンター全体でここ数年の課題となっている運営委員の高齢化や担い手不足について、館の広報紙で部会紹介をして運営委員がどのような活動をしているかを発信して新たな加入を試みている。また、地域出身の教師が聖ヶ丘中学校に赴任して、教師の声掛けに応じた有志の中学生が聖中ボランティアとして活動している。運営委員の居住地域の制限を外すなどして、運営協議会に入りやすい環境づくりを今後整えていく。</p> <p>コミュニティセンター・図書館・学童クラブの複合館というひじり館の特徴を活かして、幅広い年代が憩う場の提供に引き続き努めていきたい。</p>

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		愛宕コミュニティセンター（愛宕かえて館）		
指定管理者名		愛宕コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		愛宕コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	703	672	741
	歳出（指定管理料）	18,004	18,370	19,201

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	18,004	18,370	19,201
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,087	1,109	1,226
		その他	822	704	785
		収入計 (a)	19,913	20,183	21,212
	支出	人件費	14,682	15,018	15,881
		維持管理に係る経費	2,124	2,048	2,048
		事業実施に係る経費	2,484	2,627	2,869
		その他	623	490	414
		支出計 (b)	19,913	20,183	21,212
収支 (a-b)		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	18,004	18,370	19,201
		利用料金	-	-	-
		事業収入	886	1,234	1,252
		その他	818	689	797
		収入計 (c)	19,708	20,293	21,250
	支出	人件費	14,620	14,946	15,669
		維持管理に係る経費	2,131	1,927	2,197
		事業実施に係る経費	2,304	2,665	2,732
		その他	0	0	0
		支出計 (d)	19,055	19,538	20,598
収支 (c-d)		653	755	652	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	12,574人	17,114人	16,518人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	20事業	25事業	32事業
事業参加者数	3,309人	3,578人	3,139人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、令和5年度と比較すると－596人と利用者数は減っているが、利用単位は10コマ増えている。少人数グループでの利用が増えたためだと考えられる。

自主事業については、「かえで館まつり」を2日間開催し、ホールでの演技や演奏、会議室での作品展示、中庭での出店などで多くの参加者があり賑わいを見せた。また、本館では中央大学ボランティアセンターとの共催事業も活発で、かえで館まつりへの協力、昨年好評であった「中大生と遊ぼう！夏休みクイズラリーinかえで館」の引き続きの開催、新規の共催事業として「ゆるっとスポーツ&宝探し」を開催した。他にも、ミニシアターやかえで館シネマ、高齢者スマホ教室等の事業が人気である。

収入及び支出に関しては、近年の物価高騰の影響で人件費や施設の維持管理費が増加している。事業費・活動費については計画どおりに事業を実施し、さらに追加で事業を実施することができたため、事業に関する経費が増加している。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数）

利用者懇談会1回 令和7年2月23日 参加団体11団体

提案箱の設置 令和7年2月20日～令和7年3月20日 回答数10件

（結果の概要）

図書コーナーやロビー、幼児コーナー、展示・催事コーナーなど施設の利用方法に対する意見が多かった。現在の運営方法が利用者に正しく伝わっていないこともあったが、今後さらに利用しやすいコミセンになるように改善を検討している。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年7月1日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	かえで館ニュースやホームページで、施設紹介やイベントの告知等を行い、新規利用者の誘致を図ったか	適
市民協働の推進	中央大学ボランティアセンターと連携して実施する「クイズラリー」の実施等、世代間交流事業を実施したか（2種）	適
	「かえで館まつり」の実施等、地域団体と連携し、地域交流事業を実施したか（2種）	適
	「フレイル予防測定会」等、国土館大学や高齢支援課との連携・協力することができたか	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、中央大学ボランティアセンターと連携し、「クイズラリー」や「ゆるっとスポーツ&宝探し」を実施することで、親子連れや障がいのある方の参加が増加し、地域の賑わいの創出に貢献することができたことから、「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	利用者懇談会であまり意見が出なかったため、日々利用者の意見を聞き、改善していけるように提案箱を設置して対応している。	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

愛宕コミュニティセンター運営協議会は、地域コミュニティ活性化のために様々な事業を地域、各団体等との関係を大切にしながら実行することを目標にしている。今年度も昨年度に引き続き、中央大学ボランティアセンターとの共催で「クイズラリー」や「ゆるっとスポーツ&宝探し」を開催。子ども・高齢者はもとより障がいのある方の参加もあり、新たなつながりができたことは、愛宕かえで館の創意工夫と若い力の融合によるもので、今後の事業展開のヒントになったものと思われる。さらに、コロナが開けてカラオケ団体も利用が活発になってきているため、今年度からカラオケ発表会を復活させた。90人の参加があり、大いに盛り上がった。今後も継続して魅力ある事業展開を期待したい。

当館においても運営協議会委員のなり手不足や高齢化が課題となっている。愛宕かえで館では運営協議会を活性化するために、前述したように大学生と連携して新たな取組を行うことができている。引き続き、愛宕かえで館の特色を活かした事業運営を主体性をもって行っていただきたい。

今後も「みんなで創る、みんなのかえで館」の原点を大切に、開館25周年の節目を迎え、地域活性化のために魅力あふれる事業を実施していくことを期待したい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		唐木田コミュニティセンター（からきだ菖蒲館）		
指定管理者名		唐木田コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		唐木田コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	1,568	1,577	1,493
	歳出（指定管理料）	17,931	18,550	19,400

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	17,931	18,550	19,400
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,300	1,201	1,267
		その他	962	883	524
		収入計（a）	20,193	20,634	21,191
	支出	人件費	14,817	15,220	16,122
		維持管理に係る経費	2,023	2,146	2,156
		事業実施に係る経費	3,218	3,131	2,803
		その他	135	137	110
		支出計（b）	20,193	20,634	21,191
収支（a-b）		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	17,931	18,550	19,400
		利用料金	-	-	-
		事業収入	1,632	1,403	1,259
		その他	976	887	516
		収入計（c）	20,539	20,840	21,175
	支出	人件費	14,446	15,582	16,051
		維持管理に係る経費	2,367	2,095	2,189
		事業実施に係る経費	2,893	2,689	2,415
		その他	0	0	0
		支出計（d）	19,706	20,366	20,655
収支（c-d）		833	474	520	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	39,047人	42,819人	47,488人
貸部屋数	8室	8室	8室
事業実施数	27事業	38事業	31事業
事業参加者数	4,475人	6,475人	6,154人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、令和5年度と比べると+4,669人（+10.9%）となり、完全に新型コロナウイルス感染症前の賑わいを取り戻している。貸室の利用率については、令和5年度の59.0%から58.6%と0.4%の微減となっているが、1日の平均利用人数では141.8人と令和5年度の127.4人と比較しても高い数字となっている。

自主事業については、令和6年度も「キッズランチ」、「桜まつり」、「グリーンボランティア」等、世代間・地域間交流も図られる事業を展開し、将来のまちづくりへの意欲へつながる事業を展開している。

「からきだ菖蒲館まつり」では昨年に引き続きキッチンカーを導入し、行列ができるほどの盛況ぶりで大変賑わった。

毎月第3日曜日の恒例の「日曜朝市」では、地元生産者からの野菜・果物等を出品いただき、令和6年度新たに農産物と焼き菓子を出荷していただける2名が新たに参加している。毎回たくさんの地域住民の方が買い物だけでなく、地域交流の場として楽しまれている。

今年度初めて、多摩市社会福祉協議会の「夏のボランティア体験」受け入れに参加した。子どもや学生の参加があり、こうした小さな体験の積み重ねが将来の地域づくりへの意欲につながるものと感じた。

収入および支出に関しては、賃金の上昇により人件費が増加しているが、各部会が工夫して事業費の支出を抑えたため、事業実施に係る経費は減少している。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数）

利用者懇談会 1回 令和7年2月22日 参加団体10団体

アンケート 2回 令和6年4月20日～令和6年6月20日、令和6年12月1日～令和7年2月1日 116団体

投書箱 常設

（結果の概要）

アンケートでは、スタッフの対応についてほとんどが「とても良い」「良い」、館の満足度について「とても満足」「満足」と回答しており、館に対する満足度が伺える結果となっている。また、ピアノの設置向きの変更について要望があり、アンケートを実施し、意見の多くあった向きに変更し要望に答えている。

利用者懇談会では、菖蒲館まつりでの、コロナ禍以前に出店していた焼きそば等を復活して欲しい、との意見もあり次年度以降の課題となっている。その他としては、和カフェとの供用についても活発な意見が挙がり充実した内容となった。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年5月26日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	利用率の低いギャラリーを有効活用するため、未使用時は自由に勉強スペースとして自由に利用できるような机や椅子を設置し、広く利用者に開放したか	適
市民協働の推進	併設されている唐木田児童館と夏休みこどもイベントの共催等、世代間交流事業を実施したか（2種）	適
	「からきだ菖蒲館まつり」や「日曜朝市」の実施等、地域団体と連携を取り、地域交流事業を実施したか（5種）	適
	多摩ニュータウン環境組合主催事業である「唐木田クリーンアップ作戦」への参加や、近隣公園の管理事業協力など、地域団体等の活動と連携・協力することができた	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
	セブン・イレブン記念財団助成事業の助成金を獲得し、「花いっぱい運動でつくる‘絆’活動」を行うことで地域に貢献しているか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、「からきだ菖蒲館まつり」では昨年に引き続きコロナ禍明けを考慮し、近隣で運営しているキッチンカーを呼んだり、「日曜朝市」では新たに農産物と焼き菓子の販売をしていただける出荷者の参加を促す等、地域の協力を得て創意工夫を行ったため「適」とした。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れる中、各部会の創意工夫のもと、様々な活動が再開・活発化され、事業活動は多方面にわたって展開された。</p> <p>利用登録団体数も300団体以上を維持し、市外団体も14団体前後と浸透しており、広く開かれた施設運営を継続している。</p> <p>事業の担い手である運営委員数は、令和6年度には4名増加したが、運営委員の固定化・高齢化が課題として浮上しており、次世代の担い手育成や人材の確保も課題となっている。今後の事業活動の維持・さらなる充実・発展のために、唐木田コミュニティセンターでは、世代を超えた利用促進にも取り組み、特に若年層・現役世代の参加を促すため、世代間交流事業をさらに拡充しており、少しでも興味を持った方に協力員制度を活用し、現役世代でも「まずは少しでも参加してみる」ことから入会しやすい環境を整えている。</p> <p>今後もさらに委員・協力員・スタッフが親密に協力し合い、多世代に向けたサードプレイスとなれるように活動していただきたい。</p>

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		和田・東寺方コミュニティセンター（大栗川・かるがも館）		
指定管理者名		和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会		
施設所管課		協創推進室		
主な業務内容		和田・東寺方コミュニティセンターの管理運営		
指定期間		始期	終期	
		令和5年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		無し		
選定方法		特命		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	1,206	1,324	1,304
	歳出（指定管理料）	17,581	18,137	19,176

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	18,024	18,494	19,176
		利用料金	-	-	-
		事業収入	400	520	520
		その他	603	737	847
		収入計（a）	19,027	19,751	20,543
	支出	人件費	14,767	15,102	15,803
		維持管理に係る経費	1,972	2,094	2,111
		事業実施に係る経費	2,004	2,228	2,481
		その他	284	327	148
		支出計（b）	19,027	19,751	20,543
収支（a-b）		0	0	0	
決算	収入	指定管理料	17,581	18,137	19,176
		利用料金	-	-	-
		事業収入	585	634	714
		その他	615	751	859
		収入計（c）	18,781	19,522	20,749
	支出	人件費	14,292	14,414	15,583
		維持管理に係る経費	1,838	2,267	2,114
		事業実施に係る経費	1,938	2,018	2,251
		その他	0	0	0
		支出計（d）	18,068	18,699	19,948
収支（c-d）		713	823	801	

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	23,000人	25,560人	28,526人
貸部屋数	7室	7室	7室
事業実施数	37事業	38事業	39事業
事業参加者数	3,369人	5,345人	4,408人

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

運営状況のうち、全館共通の項目については、P37「コミュニティセンター全館（9館）の総括」に記載のとおり。

施設利用については、令和5年度と比較すると+2,966人（+11.6%）となった。平成30年の開館以来最多の利用者数を更新しており、「まちのリビングルーム」として地域に根付いてきていることがうかがえる。利用率は49.1%から47.8%に微減となっているものの、音楽室の個人利用や、市外団体の利用が増えたことも大きな要因であると考えられる

多摩保育園の出張広場が終了したことを受け、新たに「かるがもっこ広場」を立ち上げ、毎週木曜日に実施した。乳幼児やその保護者の居場所づくりを目的とし、地域の子育て世帯にとって、安定的な交流の場となっている。

学生のボランティア活動との協働にも積極的に取り組み、中学生をメインターゲットとした「現役大学生のリアルな生態をのぞいてみよう（中大）」では、学生からは、小中学生にとっては大学生の生活を知り将来のことについて考えるきっかけづくりになった、と感想を得ている。

市内のコミュニティセンターでは初めて、インスタグラムの試行運用を開始した。広報誌やホームページに加えたSNSの活用は、新たな利用者層へのアプローチとして一定の効果が期待される。

収入及び支出に関しては、事業実施に係る収入が増加しており、その分を事業実施のための支出に充てており事業の充実を図ることができている。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

（時期・方法・回数）

利用者懇談会 1回 令和6年12月1日 参加団体11団体

アンケート イベント開催時（46回） 670人

（結果の概要）

利用者懇談会では、アンケート集計結果に基づいて意見交換が行われた。要望があったロッカーの増設については、すみやかに増設し、利用団体の利便性の向上を図った。

ロビーでの話し声がうるさい、との投書による意見には、かるがも館のコンセプトである「街のリビングルーム」であることを提示し、図書館のような静けさにはならないことを丁寧に説明し、館内にポスターを掲示することで多くの方に理解を得られた。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年6月2日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	自主事業により得た収益を活用し、老朽化した備品の買い替えや備品の拡充等、利用者サービスの向上に取り組んだか	適
	子育てプレイルームについて、夕方以降の利用率が低いことから、幅広い年齢層が使用できるよう工夫したか	適
市民協働の推進	「夏の虫捕り」等、世代間交流事業を実施したか	適
	「かるがも館まつり」等、地域団体等と連携し、地域交流事業を実施したか（3種）	適
	同一エリア内にある三方の森コミュニティ会館の活動との連携・協力することができ	適
経費の削減や歳入増加	必要に応じて徴収した事業への参加者負担金や自動販売機の収入等の自主事業により得た収益を、管理運営経費に還元したか	適
評価の説明	市民協働の推進の項目について、初めて三方の森コミュニティ会館との共同事業を実施できたため、「適」とする。	
評価項目以外の改善取組	-	
改善指摘事項	なし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

<p>和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会は、開館当初から「まちのリビングルーム」を館のコンセプトとして、幅広い世代が気軽に立ち寄れるよう、工夫しながら館の運営を行っている。</p> <p>近隣の大学や地域のボランティア団体との連携を通じて、地域の大人と子どもが自然に関わりあえる場を創出している。世代を超えたつながりを育む取組みは、地域のコミュニティの活性化に寄与しているといえる。</p> <p>令和6年度はかるがもっこ広場等の新規事業、またインスタグラムを活用した新たな利用者層へのアプローチ等、新たな試みと地域連携の強化を通じて、かるがも館の可能性がさらに広がった年となった。今後も地域ニーズに応じた柔軟な運営と、新しい世代とのつながりを深める取組みを継続していただきたい。</p>
--

コミュニティセンター全館（9館）の総括（収支や利用状況、運営の状況等）

【概況】

コロナ禍が明け、様々な制限が緩和されたことにより令和5年度に増加した貸室の利用人数・利用率については、令和6年度は落ち着いてきており、館によっては利用人数・利用率の微減・微増が見られた。一方、館の実施する事業においては事業数・事業参加人数ともに、増加傾向にあり、各館の運営協議会の努力がみられる結果となった。

また、コロナ禍前の令和元年度より参加者が増えている事業もあり、コロナ禍前の活気が戻りつつあることが認められる。

【利用状況について】

利用者数については、全9館の合計で315,700人となり、令和5年度と比べて13,695人（+4.2%）の増加となった。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、様々な制限が緩和されたことを受け利用者数は徐々に増加している。

また、飲食の制限を緩和したことで、多くの館で調理室の利用率が増加した。

【収支について】

各館の収入の根幹となる「指定管理料」については、令和5年度と比べて9館とも増額となっているが、これは賃金単価引上げに伴うスタッフ人件費の額の増加によるものである。

施設の貸出に伴う「使用料収入」については、全9館の合計で約11,321千円であり、令和5年度と比べて約94千円（+0.8%）の微増となった。

支出については、令和5年度と比べると多くの館で増加している。コロナ禍での様々な制限が緩和されたことにより、令和5年度と比べて事業数が増えたことで、事業費・活動費が増加したものと考えられる。

【課題】

全館共通の長年の課題として、運営協議会委員の高齢化及び新たな人材が不足し、固定化していることがあげられる。

これを解消するために、各館ではコミュニティセンターの今後のあり方を考え、様々な試みを行っているところである。具体的には、館の事業等に参加した人に事業の運営に協力してもらう協力員制度を実施している館や、大学生のボランティアと協力して事業を実施している館がある。

また、令和6年度より試行的に実施した協創サポーター制度も積極的に活用している。開館後約30年以上が経過している館も複数あり、施設の老朽化による設備の不具合が頻発している。一方で長年の自治会等の地域との関係はより根強いものになっている。今後もこの関係性を活かして、各地域のコミュニティ醸成に向けて引き続き取り組んでいきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名	多摩市立総合体育館、多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園 ※ 体育施設（19施設）：一本杉公園野球場、関戸公園野球場、諏訪南公園野球場（兼球技場）、諏訪北公園野球場、貝取南公園野球場、一本杉公園庭球場、永山南公園庭球場、諏訪北公園庭球場、貝取北公園庭球場、愛宕東公園庭球場、一ノ宮公園庭球場、連光寺公園庭球場、奈良原公園庭球場、諏訪南公園球技場（兼野球場）、貝取南公園球技場、一ノ宮公園球技場、宝野公園球技場、和田公園球技場、大谷戸公園キャンプ練習場 ※ 多摩東公園（3施設）：武道館、陸上競技場、多摩東公園庭球場			
指定管理者名	多摩市健幸スポーツパートナーズ			
施設所管課	くらしと文化部スポーツ振興課、環境部公園緑地課			
主な業務内容	市民に安全で快適なスポーツ・レクリエーション活動やふれあいの場、社会参加の場を提供することにより、市民の健康及び福祉の増進に寄与する施設としての機能を十分に発揮できるように、各施設の適切な管理運営を行う。			
指定期間	始期	終期		
	令和2年4月1日	令和7年3月31日		
利用料金制	有り			
選定方法	公募			
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	0	0	0
	歳出（指定管理料）	202,618	199,365	200,467

※本施設は利用料金制を採用しており、利用料金は指定管理者の収入となるため、市の歳入（使用料）は0円となる。

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予 算	収 入	指定管理料	186,705	205,841	202,453
		利用料金	92,460	95,712	108,454
		その他	2,377	2,377	2,123
		収入計（a）	281,542	303,930	313,030
	支 出	人件費	118,269	123,259	123,383
		維持管理に係る経費	149,857	166,080	175,121
		事業実施に係る経費	11,016	12,191	12,126
		その他	2,400	2,400	2,400
		支出計（b）	281,542	303,930	313,030
		収支（a-b）	0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	202,618	199,365	200,467
		利用料金	84,742	83,397	99,057
		その他	1,323	7,125	5,039
		収入計（c）	288,683	289,887	304,563
	支 出	人件費	118,149	123,007	123,526
		維持管理に係る経費	165,117	153,631	165,651
		事業実施に係る経費	9,099	9,590	9,868
		その他	2,400	2,400	2,400
		支出計（d）	294,765	288,628	301,445
		収支（c-d）	-6,082	1,259	3,118

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合体育館（個人開放）	62,466	75,522	85,020
総合体育館（団体利用）	98,744	105,551	102,825
野球場	59,486	80,465	81,073
球技場	47,784	57,267	51,526
庭球場	164,523	143,897	142,763
キャンプ練習場	3,650	5,272	4,601
武道館	47,927	45,013	40,876
陸上競技場	24,742	19,377	26,195
合計	509,322	532,364	534,879

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

令和6年度は、指定管理第3期目の5年目として、より施設の利用者のニーズに沿った新たな事業・サービスを実施しました。

収支・利用状況

収支に関しては、総合体育館にてVリーグが11月に2日間開催されたこと、一本杉公園野球場にてJDリーグ（女子ソフトボール公式戦）大会開催が利用料金増の主な要因となりました。また自主事業売上から本体事業に約3,118千円を繰り入れたため、最終決算額は3,118千円の黒字となりました。

総合体育館の個人開放の利用者数が、前年度を大きく上回り約9400人増の85,020人となりました。利用者数が増えた種目は、バドミントン、卓球、トレーニングルームでした。また、陸上競技場は、5月から他市の陸上競技場の改修工事の影響を受け、利用者数が約6800人増の26,195人となりました。

維持管理

総合体育館では、建物や駐車場について大規模改修より年数が経過しており、設備の劣化が進んできていることを確認しましたが、主に、第1スポーツホール保安灯、また冷温水発生機（全館空調機）の修繕を行いました。

武道館・陸上競技場では主に音響設備の改修工事を行いました。また、多摩東公園では、外周植栽は視認性の確保、競技場周辺は適度な閉鎖性の確保を図るため場所に応じて対応しました。ナラ枯れの発生の継続等により、枯損木、枯れ枝の発生が継続している課題を確認しました。また、園路内に菜の花やオルレアの種を植え公園内の美観を図っています。全体として利用停止にいたる不具合や事故なく、施設の安定稼働と機能維持を達成することができました。また、駐車場有料化も軌道に乗り、一年間安定して管理運営できたことを確認しました。

事業実施

指定事業のほか、自主事業として定期講座やワнтаイム教室、キャンプ体験会、陸上競技場を利用したヨガ等、また東京ヴェルディとの連携によるサッカー教室など昨年度から開始した事業を継続して実施し、事業の浸透とさらなる周知を目的とした取り組みを行いました。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)		
時期：令和6年11月19日～12月28日	方法：体育館、武道館、陸上競技場、一本杉公園野球場管理棟において記入方式及びWeb回答方式で実施	回数：1回
(結果の概要)		
総回答数374件		
回答者全体の男女比率は5割強は女性でした。年代は60代以上が約4割を占め、また多摩市内に在住の方が約6割でした。施設の利用頻度は週1回程度の方が42%と最も多く、週2～3回程度の方が27%でした。施設利用を通して運動が習慣化されている方が多いと捉えています。スタッフへの満足度は82%が満足もしくは、大変満足との回答でした。施設の設備、清掃への満足度は、満足もしくは大変満足が68%との回答でした。		
全施設に共通することとして、職員の挨拶や対応について評価を得ていることがあります。清掃についても手入れが行き届いているなどお褒めの言葉を頂いています。		
体育館については、様々なイベントを開催していることからInstagramを見るのが楽しいと言ったお声を頂いています。設備についてのご要望は空調に関するものが多く第1・2スポーツホールへの空調設置及び空調稼働時間の拡大などが主です。		
武道館については、受付対応に多数の好評価がある一方で、利用者から挨拶をすれば返ってくるがスタッフからは無しとご指摘を頂いています。設備については、トイレの温水便座等の希望があることや、武道場畳面の畳が乱れており、ズレているとご指摘がありました。運用については、館内1Fスペースを午前枠と午後1枠切替の時間帯を飲食可能としたこととお褒めの言葉をいただいています。また、多摩東公園駐車場の有料化に関するご意見が複数ありました。		
陸上競技場は、維持管理について高評価が多い一方で個人利用枠の際、整備に使用するトラクターや芝刈り機から排気ガスで健康を害するといった声があります。設備については、芝生やトイレや更衣室などいつもきれいに保たれているとお褒めの言葉が多数あります。事業については、有名選手を招いたクリニックを希望されるご意見が複数あります。設備では、ナイター設備の設置希望がありました。		
屋外スポーツ施設では、好評意見としては、場所柄落ち葉が多いがきれいに対応してくれる、丁寧に受付対応をしてもらえるとといった内容でした。スタッフについては時間管理をきちんとしている、まじめ、親切など一定の評価は得られています。施設職員による季節に合わせた清掃対応をとっているほか、利用者共同による落葉の集積などでも対応しています。設備に関しては、多摩東公園のトイレはキレイに保たれていると評価を得ています。その他、駐車場の駐車可能台数の不足、有料化へのご意見が複数ありました。		

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	良
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	有料駐車場の月額売上額及び利用状況の報告を適切に行っているか。	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	武道館の自主事業、陸上競技場でのヨガや体操教室事業を実施したか	適
	一本杉公園における高木剪定や消防設備点検を適切に行い安全管理に務めたか	適
	老朽化した備品の更新や新調を行い市民サービスの向上を図ったか	適
	東京ヴェルディを応援することで、市民のスポーツに触れる機会を創出し、市のスポーツの活性化および気運醸成を図ったか	適
	利用者のニーズを把握し適切に自主事業の見直しを行ったか。	適
	多摩東公園内有料駐車場（尾根幹線側・武道館側）の運営が適切に行われているか。	適
市民協働の推進	障がい者スポーツ教室やイベントの運営補助等、ユニバーサルスポーツ事業の開催ができたか	適
	多摩市体育協会や協会加盟団体、多摩市シルバー人材センターと事業連携し、市内スポーツ推進に関わる協力や業務委託の発注等を行ったか	適
経費の削減や歳入増加	自主事業により生じた利益の50%を指定管理業務の財源に繰り入れたか	適
	市との広告掲出委託による広告料収入により歳入の確保ができたか	適
評価の説明	<p>基本業務については、屋外スポーツ施設について、管理基準以上の整備を行う等適正に管理されていることが確認できた。</p> <p>利用者サービス向上についての取組みは、子どもを対象とした通年のフットサル・チア・K-POP・体操教室等や陸上競技場での「走り方教室」などを実施し、一定以上の評価を得ていることが確認された。また、一本杉公園野球場での個人開放・バッティング体験会、大谷戸公園キャンプ練習場での親子キャンプ教室、陸上競技場でのヴェルディサッカー教室などを引き続き実施するほか、稼働率の低い曜日・時間帯を使用して、新たな個人開放を設定したり、自主事業教室を展開するなど、新規利用者の確保に努めている。</p> <p>また、体育館全館、武道館・陸上競技場・多摩東公園を一体としたイベント「多摩健幸フェスタ」を開催し、エリア全体での賑わいの向上を図っている。</p> <p>協働の推進では、総合体育館内のレストラン運営を引き続き社会福祉法人正夢の会「ワークセンターつくし」に委託し、障がい者の就労機会や活躍の場として提供しつつも、オープン当初よりメニュー手作りや利用者目線での運用を行うことでレストラン利用の増加、従事者のご家族や「ワークセンターつくし」の方にも喜ばれるといった効果が図られた。また、職員がスポーツ推進委員に加入し、活動に参加するなどスムーズな連携を図っている。</p> <p>経費削減、歳入増加については、自主事業売上の50%について本体事業へ繰入を行うなど、積極的な歳入確保に取り組んでいる。</p>	
評価項目以外の改善取組		
改善指摘事項	事業報告書については、数字等の誤りの無いよう確認を徹底する等留意されたい。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

ここ数年で立ち上げた新規事業を引き続き継続して行うことで、事業の浸透、安定化を図った運営を行いつつ、稼働率の低い曜日・時間枠で個人開放を新規に設置したり、自主事業の教室を開催したことで利用者数の増加、施設の有効活用が期待できる。また、指定事業の「快汗スポーツデー」のほか自主事業の「多摩健幸フェスタ」といった、総合体育館全館、武道館や陸上競技場を含めた多摩東公園一帯を使用した全館イベントを開催していることで、利用者の発表の場をつくりつつ、エリア全体の賑わいが今後も期待される。

施設の利用料金のオンライン決済や窓口キャッシュレス決済の運用を引き続き行い、多摩東公園駐車場のオンラインキャッシュレス化についても柔軟に対応し、利用者へ丁寧な説明を行うなどスムーズなサービス開始を図り、利用者の利便性の向上に大きく寄与した。

多摩東公園の陸上競技場や、弓の橋へ東京ヴェルディ応援の横断幕を設置し、機運醸成を図る取組を行った。また、多摩市スポーツ協会や協会加盟団体、市内スポーツ施設指定管理者の二幸産業・NSPグループとの連携に加え、スポーツ推進委員としてスタッフが活動するなど、多摩市のスポーツ推進活動の潤滑な運営や地域連携を行っている。

なお、個人利用の増加・団体利用の減少等、利用状況のニーズ分析や対応については、今後引き続き取組を図りたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター		
指定管理者名		二幸産業・NSPグループ		
施設所管課		くらしと文化部スポーツ振興課 健康福祉部福祉総務課 高齢支援課		
主な業務内容		施設の管理運営、市民の健康推進及び生涯スポーツの振興並びに福祉の増進を図るための事業施設		
指定期間		始期	終期	
		令和4年4月1日	令和9年3月31日	
利用料金制		有り		
選定方法		公募		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	0	0	0
	歳出（指定管理料）	467,742	463,997	469,102

※この施設は利用料金制を採用しており、利用料金は指定管理者の収入となるため、市の歳入（使用料）は0となる。

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予 算	収 入	指定管理料	423,116	465,000	496,892
		利用料金	171,805	175,705	164,820
		行政財産負担金	6,190	5,500	5,500
		自主事業	6,000	6,000	6,000
		その他	5,110	5,890	4,192
		収入計（a）	612,221	658,095	677,404
	支 出	人件費	354,645	365,883	374,825
		維持管理に係る経費	203,203	245,546	246,629
		事業実施に係る経費	54,373	46,666	55,950
		その他	0	0	0
		支出計（b）	612,221	658,095	677,404
収支（a-b）			0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	467,742	463,997	469,102
		利用料金	134,434	156,663	163,847
		行政財産負担金	6,759	6,890	5,366
		自主事業	6,000	6,000	6,000
		その他	1,823	2,366	12,594
		収入計（c）	616,758	635,916	656,909
	支 出	人件費	354,633	365,871	374,813
		維持管理に係る経費	202,639	212,280	212,807
		事業実施に係る経費	59,543	57,706	58,015
		その他	0	0	8,835
		支出計（d）	616,815	635,857	654,470
収支（c-d）			-57	59	2,439

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
温水プール				
施設利用者数		351,224	408,777	422,125
内訳	プール	279,356	321,551	326,371
	トレーニングルーム	45,682	57,438	63,871
	ミニスポーツホール	26,186	29,788	31,883
総合福祉センター				
施設利用者数		77,823	86,848	87,614
内訳	一般貸出	37,943	40,549	50,625
	センター事業	39,880	46,299	36,989
利用者団体件数		5,543	5,569	6,082
内訳	一般貸出	3,998	3,941	4,871
	センター事業	1,545	1,628	1,211
登録団体数		592	625	631
稼働率		61.4%	61.6%	50.5%

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

<p>■管理運営の状況について</p> <p>温水プール・トレーニングルーム・ミニスポーツホールでは、昨年度の年間利用券、回数利用券、団体利用料のキャッシュレス決済の導入に加え、入退場システムの更新に合わせて、当日利用券のキャッシュレス決済対応や立体駐車場のキャッシュレス決済も導入・運用を開始し、利用者の更なる利便性向上を図った。7月と1月にリラクゼーションプールの水質検査においてレジオネラ菌が基準値を超えて検出され、不適合となったが、その後、浴槽の換水や洗浄消毒作業の頻度を増やすことで適切な水質管理を行っている。</p> <p>総合福祉センターと老人福祉センター事業では、本年度から改正された施設の利用方法や同好会活動支援の変更について利用者の方々に丁寧に説明し、スムーズに移行することができた。また、会計ソフトの導入、インボイス制度の適正な事務処理、報告書類等の整合性を図るため、チェック機能の強化、本社経理による支払い事務の検討など、正確で統一性のある帳票づくりに取り組んだ。</p> <p>■利用者数の状況、利用者増加策について</p> <p>【温水プール】</p> <p>温水プール全体の利用者数は、422,125人（前年度比で13,348人増）となり、回復傾向にある。</p> <p>また、教育振興課より委託を受ける小学校水泳授業事業では、泳力の向上、教員の負担軽減に寄与することで、学校関係者や生徒から好意的な意見を頂いた。このほか、令和6年度も、アクア祭や快汗スポーツDAYなどのイベントを開催して集客力向上に努めると共に、従業員に対して利用者への接遇の指導強化を行い、利用者へのサービス向上を図った。</p> <p>トレーニングルームでは、SNS（インスタグラム、X：旧ツイッター）を活用し、イベントや事業をPRすることで顧客拡大を図った。</p> <p>ミニスポーツホールでは、指定事業の教室定員をコロナ禍前に戻し、また教室の周知を強化して行うことで定員拡大、新規利用者及びリピーターの拡大を図った。事業の一つであるキッズダンスは、子供たちの日頃の練習の成果の発表の場として、福祉棟多目的フロアで発表会を開催したり、市外のダンスイベントに出向いたりして日頃の練習の成果の発表の場をもち、充実させた。</p> <p>【総合福祉センター】</p> <p>総合福祉センター全体の利用者数は87,614人（前年度比で7,666人増）となった。令和6年4月から総合福祉センター利用方法と老人福祉センター同好会支援制度が変更された。多くの同好会が一般団体へ移行し、団体自ら施設予約を行うこととなったため、年度当初は施設予約の不安の声があったが、予約システム操作方法説明会や無料パソコン相談会などを開催し、利用者がスマホやパソコンから予約できるように案内を行った。この他、同好会以外でも希望する団体が利用できるロッカー貸出を開始し、利便性を向上させた。</p> <p>【老人福祉センター】</p> <p>老人福祉センターの運営は、指定管理者の事業として運営して4年目となる。老人福祉センターの利用者は、同好会活動の支援制度の変更で同好会の団体数が減少したことが要因となり、33,117人（※1）（前年度比で9,114人減）となった。「春の発表会」は、一般団体も含む多くの方に参加いただき、老人福祉センター活動を周知する機会となった。また、寿大学については、将棋やフラダンスの講座を新設するなど、文化的で、健康を維持するための多くの講座を開催した。</p> <p>（※1）老人福祉センターの利用者数は、総合福祉センター全体の利用者数に含まれる。</p>

■事業実施について

(1) 「子どもを守る110番」事業開始

「赤ちゃん・ふらっと」、「子ども110番」の登録に続き、今年度は、社用車運転中に、子どもの異変を察知したら声掛け、保護をする制度に登録し、子供たちの安全、安心のため新たな取り組みを開始した。

(2) 指定管理者主催「第1回総合福祉センターポッチャ大会」開催

「第1回総合福祉センターポッチャ大会」を開催し、ポッチャ同好会、館内テナント、多摩市老人クラブ連合会等の親睦を深めるとともに、ユニバーサルスポーツのポッチャを通して、障害者、高齢者、職員の垣根なく楽しむことができた。

(3) アイスランドウィーク連携

アイスランドについて紹介パネル・動画放映・クイズを設置した。また、多摩中央図書館と連携し、関連する書籍等を提供いただき、「アイスランド『13人のサンタクロース』パネル展示イベント」を開催した。アイスランドのクリスマス文化・伝統を楽しみながら学び、多摩市がアイスランドのホストタウンである事ことを周知する機会となった。

(4) 明治安田生命保険相互会社との事業連携協定締結

スポーツ振興・健康増進・高齢者支援・子育て支援・青少年育成などの活性化及び市民サービスの向上を図ることを目的に明治安田生命保険相互会社と事業連携協定を締結した。その後、館内イベントにおいて、血管年齢測定などの健康測定事業や研修講師派遣など連携をおこなった。

(5) しごと・暮らしサポートステーションの「就労準備支援事業」と連携

社会で生きづらさを感じる方々を月2回受け入れ、園芸作業などを通して生活リズムの改善、居場所づくりに協力した。

(6) 自主事業について

温水プールの小学校水泳授業事業を始め、福祉センターの「世界がつながる料理教室」（ネパール家庭料理・フィリピン家庭料理）や、子ども向けのダンス講座「こどもダンス・ダンス・ダンス」など新たな企画・運営に取り組んだ。

■収支状況について

【収 入】

令和6年度の全体利用料金収入は、利用料収入予算にはわずかに及ばなかったものの、前年度実績を上回った。温水プールの利用者数について昨年度より増加しているもののコロナ禍以前の水準には達しておらず、引き続き利用者増加について対応していく必要がある。

【支 出】

施設の老朽化に加えて利用者が増加していることによる修繕箇所が増加や備品の故障等により、修繕費等について予算を超過した。単価上昇を見込んで見積もった両館の光熱水費について、結果として単価の上昇は鈍化し、さらに国の補助があったことから、光熱水費支出額が予算額を下回った。このことからこの残金については、緊急に必要となった修繕や、備品購入等に流用した。また、多摩市が応援するプロサッカーチームを指定管理者としても応援するために応援懸垂幕を作成して、総合福祉センター壁面に掲出した。このほか施設の利便性、安全性を高めるため、インターネットサービス提供のための工事や、外壁補修工事、トイレ1基について洋式化を行った。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

<p>(時期・方法・回数)</p> <p>令和7年2月初めから3月末までを調査期間として、年に1回、両施設利用者を対象に、別々に利用者の満足度調査を実施。来館者に対しアンケート用紙を声掛けにより手渡しし、協力を依頼した。回答者に対し粗品を進呈した。満足度レベルは5～1の5段階。加重平均値を算出。レベル度に合わせSABCDEFの7レベルで表記。</p>
<p>(結果の概要)</p> <p>【温水プール】</p> <p>サンプル数283人。</p> <p>アクアブルー多摩の職員への満足度について4.51 (Sランク) で前回の4.25 (Aランク) より大幅に向上した。</p> <p>アクアブルー多摩の施設や清掃状況への満足度について4.30 (Aランク) で前回の4.10 (Aランク) より向上した。</p> <p>アクアブルー多摩の利用目的の満足度では、4.48 (Aランク) で前回の4.25 (Aランク) より向上した。</p> <p>アクアブルー多摩の全体としての満足度は4.44で前回の4.23より向上したが、「満足」「やや満足」を合わせると88%以上の利用者は満足して利用されているものと考ええる。</p> <p>自由意見では、プールやトレーニング室の利用方法、利用時間などのご要望、ご提案を多くいただいたため、運営の参考にしていく。</p> <p>【総合福祉センター】</p> <p>サンプル数207人。</p> <p>総合福祉センター職員の満足度は4.03 (Aランク) で昨年の3.82 (Bランク) より大幅に向上した。</p> <p>総合福祉センターの総合的な満足度は4.06 (Aランク) で、前回の3.83 (Bランク) より向上となった。</p>

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年7月10日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	良
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者満足度向上策を実施したか。利用しやすい施設にするための改善策や、キャッシュレス決済サービスの導入を可能な限り進めたか。	良
	屋内大型プールを生かしたイベント、その他イベント等を実施したか。	適
市民協働の推進	近隣イベント等への協力、他機関との連携による事業実施したか。	適
	地域人材力の向上につながる策として、ボランティア活動の推進、リタイア人材の雇用、ユニバーサルサービス研修の開放等々を実施したか。	適
経費の削減や歳入増加	利用者ニーズを踏まえた事業展開、有償付加サービスの利用促進を実施したか。	適
	利用者拡大に向けた積極的な情報発信、たま広報等の公共広告媒体の活用等の経費削減を実施したか。未利用市民にアプローチする取組として積極的な情報発信を行ったか。	適
評価の説明	入退場管理システム更新に伴う当日券のキャッシュレス化については、導入時指定管理者が利用者へ丁寧に説明するなど柔軟に対応したことでスムーズな導入が図ることができた。また立体駐車場のキャッシュレス化を行うことで利用者の利便性向上につながった。さらに、指定管理者設置の飲料自動販売機において、災害時に避難した方々へ無償で飲料を提供できるサービスの開始や職員に向けて階段避難車(イーバックチェア)の取扱い研修を実施し、避難困難者への対応強化を行うなど、災害時の危機管理対策について力を入れて取り組んでいただいた。また、老人福祉センター事業同好会制度の変更や当該変更に伴う予約方法の変更等が生じる中、利用者への予約方法の説明をはじめ、丁寧な対応をしていただいた。今後は利用者拡大に向けた情報発信にさら注力いただきたい。	
改善指摘事項	温水プールの水質管理については、既に改善されているものの、今後も水質を良好な状態に維持するよう努めていただきたい。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

施設の利用者や稼働率はコロナ禍から利用者数が少しずつではあるが回復してきている。施設の老朽化が進むなかで改めて点検業務等の安全管理、施設の清掃業務等を徹底いただき、来館いただいた利用者気持ちよく施設を利用いただくことや、新規利用者のさらなる拡大に向け、より利用者のニーズにあった教室やイベント等の開催に取り組んでいただくことを期待する。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		永山駅・永山駅北・北諏訪小南・多摩センター駅東・多摩センター駅西各駐輪場		
指定管理者名		NCD株式会社		
施設所管課		都市整備部 道路交通課		
主な業務内容		駐輪場の管理運営業務		
指定期間		始期	終期	
		令和3年4月1日	令和8年3月31日	
利用料金制		有り		
選定方法		公募		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	945	1,496	1,392
	歳出（指定管理料）	0	0	0

※本施設は利用料金制を採用しており、利用料金で施設運営を賄っているため、市の歳出（指定管理料）は0円となる。

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	62,300	70,001	70,001
		その他			
		収入計 (a)	62,300	70,001	70,001
	支出	人件費	31,500	32,097	33,060
		維持管理に係る経費	24,985	34,493	34,493
		支出計 (b)	56,485	66,590	67,553
収支 (a-b)			5,815	3,411	2,448
決算	収入	指定管理料	0	0	0
		利用料金	65,377	65,481	70,061
		その他	0	0	
		収入計 (c)	65,377	65,481	70,061
	支出	人件費	31,092	31,391	34,324
		維持管理に係る経費	32,394	31,098	32,953
		支出計 (d)	63,486	62,489	67,277
収支 (c-d)			1,891	2,992	2,784

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
自転車定期利用契約総数	5,831	6,376	6,575
自転車一時利用総回数	149,208	143,103	162,892
バイク定期利用者契約総数	1,709	1,680	1,666
バイク一時利用者総回数	100,734	97,903	101,136

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

市営駐輪場については、指定管理者が利用料金収入のみで管理運営をしている。
 利用状況については、バイク定期利用者契約総数がやや減少したものの、自転車の定期利用及び一時利用、バイクの一時利用の総数については増加しており、特に自転車の一時利用は昨年比13%以上の大幅な増加となった。
 その要因としては、自転車一時利用者の利便性を考慮して、場内の空きスペースを有効活用することで、一時利用エリアが満車時でも利用者の受け入れを行ったことにある。
 また、自転車安全点検キャンペーンを実施して、駐輪場内外の交通事故防止の啓発活動を実施するとともに、駐輪場施設内の清掃及び自転車等の整頓によって、利用者利便性と安全性に配慮した管理運営を実施した。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)
令和6年11月15日～令和6年12月15日にアンケート調査を実施。 調査方法は駐輪場内の管理人室前にアンケート用紙を設置・回収する方法とWEB上アンケートを併用して実施した。
(結果の概要)
回答件数：235件 利用実態：定期利用94.0%、一時利用6.0% 利用目的：通勤64.7%、通学26.8%、その他8.5% 管理人の対応・態度：満足56.6%、やや満足24.3%、その他19.1% 場内の清潔さ：満足52.3%、やや満足34.0%、その他13.7% 「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「管理人の対応」がやや減少傾向にあり、その要因は挨拶等のマナーに起因するものと思慮されるが、管理人による雨天時の雨衣やタオルの提供など利用者へのサービスについて高評価となっている。 また、永山駅及び多摩センター駅西、多摩センター駅東駐輪場にて「多摩市自転車安全点検キャンペーン」を開催し、自転車安全整備士による無料自転車点検を行うことで、利用者から多数の高評価の意見が寄せられている。

4.施設所管課の評価

実地検査日: 令和7年7月14日

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	施設内の事故防止に向けて、掲示案内を見直し、案内表示の分かりやすさを向上させたか	適
	交通安全の啓発のため、継続して「自転車安全点検キャンペーン」を実施したか	適
市民協働の推進		
経費の削減や歳入増加	紙資源の減量に向けて、紙資料の電子化に取り組んだか	適
評価の説明	・多摩センター駅東駐輪場において、原動機付自転車一時利用の稼働率が低いエリアを自転車一時利用の大型自転車対応エリアへ転用し、利便性及び安全性の高い駐輪場を整備した。 ・自主事業として、自転車安全点検キャンペーンを各駐輪場（永山駅、多摩センター駅東、多摩センター駅西）で実施し、車両事故等に対する意識の向上と事故の未然防止を行うことができた。 ・各種研修をパソコン又は本社で実施することにより、マニュアル等の資料印刷が不要となり、資源の削減に努めることができた。	
評価項目以外の改善取組	・管理人に対する暴行事件の発生を受けて、ココセコム（ペンダント型通報装置）を導入し、管理人と利用者の安全をさらに強化することができた。	
改善指摘事項	特になし。	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

事業計画書に基づく業務内容及び実施状況の適正な執行を確認した。

管理者による利用者の利便性及び安全性に配慮して、大型自転車対応エリアの拡充を実施するとともに、自主事業として自転車安全点検キャンペーンを実施し、車両事故の未然防止を行うなど、駐輪場の利便性及び安全性の向上する取り組みが認められた。

また、管理人に対する暴行事件の発生時には、速やかな報告など適切な対応を行うとともに、再発防止策としてココセコムを導入するなど、管理人や利用者の安全をさらに強化する対応について、高く評価する。

今後も民間企業ならではのノウハウを活かしながら、車両の多様化に対する対応を継続するとともに、利用状況に適した各車種別台数の見直しを実施し、利用者の利便性及び安全性の向上を期待する。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1. 指定管理者について

施設名		多摩市立八ヶ岳少年自然の家		
指定管理者名		一般社団法人 富士見パノラマリゾート		
施設所管課		教育部教育振興課		
主な業務内容		多摩市立八ヶ岳少年自然の家における施設等の利用の許可及び維持管理並びに小・中学校の移動教室等の実施		
指定期間		始期	終期	
		平成30年4月1日	令和10年3月31日	
利用料金制		有り		
選定方法		公募		
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	0	0	0
	歳出（指定管理料）	73,903	68,172	67,841

※本施設は利用料金制を採用しており、利用料金は指定管理者の収入となるため、市の歳入（使用料）は0円となる。

2. 指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

（単位：千円）

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	収入	指定管理料	66,200	79,487	66,200
		利用料金	8,038	8,255	9,692
		食事料	21,217	20,643	26,425
		その他	3,560	4,550	4,341
		収入計 (a)	99,015	112,935	106,658
	支出	人件費	45,475	45,475	45,535
		維持管理に係る経費	24,761	29,643	17,839
		事業実施に係る経費	26,092	35,587	37,087
		その他	2,687	2,230	6,197
		支出計 (b)	99,015	112,935	106,658
		収支 (a-b)	0	0	0
決算	収入	指定管理料	73,903	68,172	67,841
		利用料金	7,229	7,752	9,360
		食事料	18,563	19,871	24,767
		その他	4,169	4,601	5,659
		収入計 (c)	103,864	100,396	107,627
	支出	人件費	48,187	44,746	51,347
		維持管理に係る経費	16,516	15,488	12,429
		事業実施に係る経費	31,755	33,134	37,975
		その他	8,185	6,919	8,059
		支出計 (d)	104,643	100,287	109,810
		収支 (c-d)	-779	109	-2,183

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用者数	団体数	397団体	325団体	333団体
	宿泊人数（延べ）	9,967人	10,168人	11,786人
	利用人数（延べ）	16,888人	17,297人	20,759人
貸部屋数（稼働率）		1,515（42%）	1,412（39%）	1,632（45%）
事業実施数		0回	2回	1回
事業参加者数		0人	53人	36人

(3) 運営状況(維持管理・事業実施の状況)や収支・利用状況の増減要因分析 等

維持管理の状況

1. 保守点検・修繕等について

法令に基づき施設の維持管理に必要な各種保守点検等を行ったほか、基本協定書及び指定管理基準のリスク分担に則った修繕工事を実施した。

2. 安全管理・環境保全について

安全管理・環境保全に関して以下のとおり対応した。

- ・敷地内の危険木や枝の撤去、草刈りによる足元の視界確保など随時整備を行い、野外での活動が常に安全に実施できるように努めた。
また、雷雨や積雪などの気象情報をその都度取得して早めの情報提供と注意喚起に努めた。
- ・春秋の側溝清掃点検と降雪時の速やかな道路除雪・解氷を実施した。
- ・移動教室の林業体験の際にヘルメットを貸し出し、安全対策を徹底した。
- ・多摩市が国と協定書を取り交わし、小学校6年生の林業体験で使用している国有林において環境整備上必要な間伐を行い環境保全に努めた。
- ・毎日時間を定め敷地内の見回りを実施。凍結・落雪・蜂の巣等危険個所の発見・除去に努めた。
- ・台風被害等による倒木を順次処理し、野外活動に支障が出ないように安全対策を図った。

3. 予算執行と経費等の管理について

予算執行と経費等は適正に管理されている。また、現金の入出金管理は、現金出納簿等を備え適正に管理されている。

■ 事業実施の状況

1. 指定事業について

市立小中学校の移動教室等は、夏期23校、冬期20校の計43校が施設を利用して宿泊した。

「森林教室」では、パネルやパワーポイント等の資料を用いて、森林を始めとした自然が人々の暮らしの支えとしてどのような役割を担っているのか、その保護保全のためにどのような貢献が出来るのか一人ひとりが考えるきっかけを提供した。

「林業体験」では、ノコギリでの伐倒体験を行い、知識だけではなく、実践を通して、林業と自然に関する理解を深める機会を提供した。

2. 主催事業について

主催事業については、「親子サマーキャンプ」等について年5回実施を予定していたが、応募人数が催行最少人数を下回る結果となり、予定していた5回のうち催行人数に満たない回もあったが、40人の応募があったスキー・スノーボード直行便は実施することができた。

■ 収支・利用状況

1. 収支・利用状況について

令和6年度決算額は、令和5年度決算額に対して収入(利用料金・食事料・その他)が利用者数の回復に伴い約7,562,000円増加した。エネルギー価格の高騰が続いたものの、政府によるエネルギー価格激変緩和措置や施設職員による燃料使用の効率化に努めた結果、燃料費等の不足分を補填する指定管理料を令和5年度と比べて令和6年度は331,000円程度抑える事ができた。

一方で、支出は常勤採用による人件費増や、物価高騰による食材仕入れ価格の上昇等により約9,523,000円の増となり収支は2,183,000円のマイナスとなった。

令和6年度の利用実績は、延宿泊者数が11,786名で前年度と比べて1,618名増、令和5年度に引き続き1万人を超える宿泊者数となった。

また、多摩市立小学校5・6年生、中学校1年生の全児童生徒が令和6年度に移動教室等で八ヶ岳少年自然の家を利用するとともに、昨年に引き続き帝京大学小学校3・4年生は令和5年度より1泊多い3泊4日の利用があった。なお、令和6年度から八王子市の移動教室利用30校を受け入れもあり、利用者数回復に向けた取り組みが着実に進んでいる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)

時期：4月から翌年3月

方法：一般利用者に対し実施。アンケート用紙に記入する。

回答数：82件

(結果の概要)

「今後も利用し続けたい」が約94%を占め、設備、スタッフ対応などの満足度も高水準であることから、利用者が高く評価されている。食事については「満足・やや満足」が約82%となっており、令和5年度から7ポイントも上昇した。引き続き、自然の家ならではの地元農家の野菜や果物を使用した魅力あるメニューを提供できるよう努めていただきたい。

その他の自由意見としては、「ただいまと言えるような安心してゆっくり過ごせる施設でした」「学校行事で使用した思い出があり楽しく過ごせました」などのほか、丁寧なスタッフの対応や施設の清潔感についてお礼の言葉が多くあった。利用者からの指摘事項は全職員で共有し、迅速に対応することで利用者の満足度向上に結び付いていると考える。

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	利用者アンケートの実施方法を見直し、回答率の向上を図ったか。 また、「ご意見箱」を新たにロビーへ設置したか。	適
	職員がチェーンソー取扱従事者の有資格者を配置し、林業体験における安全対策の強化を図ったか。	適
	職員がリスクマネジメントディレクターの資格を取得するため、自然体験安全管理アドバイザーによる講習を受講し、事故防止対策の強化を図ったか。	適
	食品衛生法等に基づき、以下のとおり、衛生管理の強化を図ったか。 ・食品衛生に関する講習実施等の実施による職員の意識の向上 ・外部機関による点検を実施したか	適
	施設利用における感染症対策等の注意点を掲示し、施設各所の消毒を定期的に実施するなど、利用者の感染防止を図ったか。	適
	インターネット上で予約できるシステムを導入し、予約方法について利便性の向上を図ったか。	適
	一般利用者向けの一品料理のメニューを考案し提供したか。	適
市民協働の推進	富士見町観光協会などとの連携により地元産食材を利用したメニューの考案及び提供を行ったか。	適
経費の削減や歳入増加	定期的に点検を行い、必要に応じて修繕等の対応を行うことで設備の長寿命化を図り、更新や改修にかかる経費の削減に努めたか。	適
	ボイラーを手動操作でこまめに電源を落とすことや、デマンド計を活用し、館内の使用していない設備の電源をこまめに落とすなど、エネルギー使用量の削減に通年で努めたか。	適
	灯油について、従前から継続して一括大口購入して、購入単価の削減を図ったか。	適
	多摩市や富士見町及び観光協会等と連携し、継続的に多摩市や富士見町近辺の学校やスポーツ団体などに営業活動を行い、利用者の増加を図ったか。	適
	令和6年度の他市の学校受け入れを行うと共に、令和7年度以降の受け入れについて多摩市と連携し、準備を行ったか。	適
	一般利用者向けのテント泊の受け入れに向けて、準備を行ったか。	適
評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> 「協定書や管理基準等に基づく基本業務」は、評価項目全てにおいて適正に行われていることを確認した。 「利用者サービスの向上」は、安全策を図りながら、概ね適正に行われていることを確認した。 インターネットを使用したシステムの導入は、市の公共施設予約システム等も含めて今後検討したい。 なお、常連の団体利用者向けにメールを使用した予約や資料送付を行う等、可能な限り省力化し工夫している点は評価できる。 「市民協働の推進」は、適正に行われていることを確認した。 「経費の削減や歳入増加」は、適正に行われていることを確認した。 また、タイヤ交換やワックスがけなど職員で対応可能な作業は専門業者に委託せずに職員が行うなど、支出を抑えるための工夫に日々取り組んでいることを確認した。 さらに、他市の学校受け入れに向けた説明会や実地踏査の受け入れに際し、多摩市と連携し積極的に取り組んでいる事を確認した。 	
評価項目以外の改善取組	<ul style="list-style-type: none"> 夏季期間限定で新鮮な高原野菜の盛り合わせを団体ごとにサービス提供し、郷土色溢れる味覚の提供に努めた。 多摩市文化・生涯学習推進課からの依頼を受け、移動教室の林業体験で切り出した間伐材を使用したクリスマスオーナメントの作成に向け、間伐材の輪切りや研磨など、飾り付けしやすいよう加工を施し、予定した学校に提供したことを確認した。 富士見パノラマリゾート内部で連携し宿泊者限定の Gondola 割引券を発行し相互の利用者増加に努めた。 屋外テラスの塗装や、客室の網戸破損など職員による修繕を行った。 	
改善指摘事項	改善指摘事項無し	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和6年度は、令和9年度までの指定管理期間（10年間）の7年目であり、宿泊者（延べ）は11,786人と、前年度と比べて1,618人増加した。これは、指定管理者が市教育委員会との調整を図りながら、八王子市立学校30校の移動教室を受け入れるなど、これまで培ってきた知識や経験をもとに、良好な施設管理及び事業の運営に努め、利用者サービスの向上を実現するため、丁寧な対応と改善を図った結果であると評価できる。

市立小中学校の移動教室は、夏期に23校、冬期に20校と予定していた移動教室等を大きな事故等無く全て実施できたことは高く評価できる。

また、燃料光熱費の単価が上昇する中、デマンド計を活用し館内の使用していない設備の電源をこまめに落とすなど、エネルギー使用量の削減に努めている。さらに、灯油については、単価の安い時に一括購入するなど、経費削減の工夫や省エネルギー化による持続可能で地球にやさしい取り組みを行っていること等も評価できる。

施設・設備等の管理は、定期的に点検を行い、必要に応じた修繕等の対応により適切に維持管理されている。引き続き、令和9年度までの指定管理期間の中で施設の長寿命化を図るため計画的かつ効率的な施設維持管理に努めていただきたい。

今後も利用者の安全確保を最優先に取り組んでいただくとともに、引き続き他市の移動教室の受け入れを進めていただき、指定管理者として積極的に創意工夫を図り、利用者数及び収益を増やし、施設運営経費の節減に努め、八ヶ岳の良好な自然環境の中で、市民の自然体験の機会提供を安定的かつ積極的に進めていただきたい。

指定管理者 施設運営評価シート（令和6年度）

1.指定管理者について

施設名	永山複合施設駐車場			
指定管理者名	新都市センター開発株式会社			
施設所管課	教育部 公民館			
主な業務内容	駐車場の管理運営			
指定期間	始期	終期		
	令和6年4月1日	令和11年3月31日		
利用料金制	無し			
選定方法	特命			
市の決算額（千円）	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	歳入（使用料）	8,910	8,408	8,663
	歳出（指定管理料）	8,848	8,848	10,400

2.指定管理者の施設運営状況

(1) 収支状況

(単位：千円)

		内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予 算	収 入	指定管理料	8,848	8,848	10,400
		利用料金	-	-	-
		その他	0	0	0
		収入計 (a)	8,848	8,848	10,400
	支 出	人件費	7,318	7,323	9,387
		維持管理に係る経費	0	0	0
		事業実施に係る経費	0	0	0
		保険料	50	39	39
		設備保守点検費	465	465	498
消耗品費		382	387	387	
その他		633	634	89	
支出計 (b)	8,848	8,848	10,400		
収支 (a-b)			0	0	0
決 算	収 入	指定管理料	8,848	8,848	10,400
		利用料金	-	-	-
		その他	0	0	0
		収入計 (c)	8,848	8,848	10,400
	支 出	人件費	7,095	7,095	9,387
		維持管理に係る経費	0	0	0
		事業実施に係る経費	0	0	0
		保険料	39	39	40
		設備保守点検費	465	465	498
消耗品費		26	387	387	
その他		598	634	89	
支出計 (d)	8,223	8,620	10,401		
収支 (c-d)			625	228	-1

※指定管理料は、前年度の収支状況等を踏まえ、毎年度、市と指定管理者の協議により決定しています。

(2) 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
施設利用台数	67,387	70,935	69,326
有料台数	21,119	20,110	19,654

(3) 運営状況（維持管理・事業実施の状況）や収支・利用状況の増減要因分析 等

駐車場の開場・閉場、場内点検、駐車場管制システム・駐車券発行機・精算機の保守、使用料・駐車券の回収及び集計、使用料の入金、帳票類の記録・管理、場内監視、事故等の対応処理等の管理運営を行う。

また、場内の美観維持及び安全性の向上を目的として場内の誘引換気ファンの清掃及び駐車場入口のライン塗装を実施した。換気ファンの清掃により機器の機能維持、場内の換気の向上に繋がった。また、ライン塗装により場内の美観及び視認性が改善したと思われる。

駐車場利用台数は69,326台であり、前年と比べ2.27%減少した。市の歳入となる使用料収入については、前年と比べ3.04%増の8,663千円となった。入庫台数については、7月及び10月から3月までの期間において、使用料収入については、5月から11月及び2月、3月において前年を上回った。4月から6月の入庫台数が減少した要因として、令和5年度はマイナポイント付与事業の駆け込み需要によりマイナンバーカードセンターの利用者が増加していたことが考えられる。

労務単価の上昇に伴う人件費増加のため使用料収入から指定管理料を差し引いた収支の状況が悪化している。利用台数及び有料台数、使用料収入が大きく変わっていないことから、情勢に即した駐車場使用料金への改定や運用手法の変更などを検討し、収支状況の改善に努めていく。なお、次年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響も小さくなったことから、公共施設の利用者数及び各事業における来館者の増加が想定され、使用料収入の増加を見込んでいる。

3.利用者アンケート等の実施状況・結果

(時期・方法・回数)

時期：令和6年11月15日（金）16日（土）17日（日）の3日間（各50枚、計150枚配布）

方法：駐車場係員が利用者に手渡しでアンケート用紙を配布。

(結果の概要)

配布枚数150枚 回答枚数138枚

①利用者年代 10代3件、20代13件、30代8件、40代21件、50代39件、60代32件、70代11件、80代16件、90代以上0件、無回答0件（複数回答有）

②利用施設 公民館27件、図書館92件、消費生活センター1件、教育委員会事務局3件、マイナンバーカードセンター7件、喫茶れすと9件、郵便局3件、ワークプラザ1件、その他18件、無回答1件（複数回答有）

③利便性 満足89件、普通43件、不満6件、その他・無記入0件

④係員の対応 満足87件、普通48件、不満0件、その他・無記入3件

⑤駐車時間 30分未満26件、30分以上1時間未満85件、1時間以上2時間未満18件、2時間以上9件、無記入0件、その他0件

⑥利用頻度 ほとんど毎日4件、週1回程度40件、週2～3回程度19件、月1～2回程度65件、初めて利用9件、その他1件

⑦駐車場案内 分かりやすい55件、普通77件、分かりにくい6件、無記入0件

③利便性、④係員の対応、⑦駐車場案内の結果から、利用者は概ね満足を得ていると評価する。令和2年度にアンケート項目の見直しを行い（①利用者年代の項目を追加。②利用施設をより細かく設定。⑤駐車時間の選択肢をより細かく設定）、利用状況をより把握しやすくなった。アンケートで寄せられた「自動ドア付近の人の飛び出し」「駐車場出庫口の人の出入り」が気になるという声については、追加の案内掲示で対応した。

視点	評価項目	評価
協定書や管理基準等に基づく基本業務	適正に施設を維持管理できていたか	適
	適正に利用承認や事業実施できていたか	適
	災害時や事故発生時の危機管理対策を講じていたか	適
	適正に個人情報を管理できていたか	適
	適正な労務管理のために就業規則や出勤簿の整備等していたか	適
	適正に経理事務や現金管理等は行われていたか	適
	その他関係法令や協定書等に基づく手続き等は適正に行われていたか	適
利用者サービスの向上	混雑時は出入口にて待機し、発券及び精算の補助等混雑緩和の対策を実施しているか（従前からの継続取組）	適
	満車による交通渋滞発生時には、待ち車両に対し『グリナード永山第一駐車場』へ振替駐車を行うとともに、料金や減免等をベルブ永山駐車場と同じ取扱いにしたか（従前からの継続取組）	適
	通常清掃では取り切れない場内の油分等の汚れについて、機材を用いた清掃を実施したか（清掃箇所及び方法等は、場内の状態により毎年検討する）	適
	障がい者車両が入庫する際の専用駐車スペースへの誘導や、巡回・モニター監視により必要に応じて補助等の適切な対応を行ったか（従前からの継続取組）	適
市民協働の推進		
経費の削減や歳入増加	消耗品の調達にあたって、一括購入による購入費削減等を検討し、実施したか（従前からの継続取組）	良
評価の説明	個人情報や現金の管理については、従来通り決められたルールのもと適正に管理されている。満車の状況が発生した際にもグリナード永山第一駐車場への振替駐車を行うことで、交通渋滞の発生を緩和した。機材を用いた特別清掃に加えて、誘引換気ファンの清掃及び駐車場入口のライン塗装を実施したことにより、換気・美観・安全性が向上した。消耗品の調達について、ロール紙及び駐車券の一括購入を行うことで、通常購入額より77千円削減することができたため「良」と評価する。	
評価項目以外の改善取組		
改善指摘事項	特になし	

※評価項目は、毎年度、市と指定管理者と協議により作成している事業計画書等に基づき、設定しています。

※評価の種類： 良…業務水準を大きく上回った 適…概ね業務水準どおり遂行できた 要改善…改善指示事項がみられた

5.総括（評価の総括及び今後の課題や方向性について）

令和6年度駐車場管理については多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者の管理に関する年度協定書及び多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者指定基準に基づき、令和6年度事業計画にある業務について適正に遂行されたものと評価する。

指定管理者は、多摩ニュータウン内の商業施設に係る駐車場の管理運営もを行っている。そのスケールメリットを生かし、満車時には近隣自社管理駐車場を案内するなど、駐車場の利用者が安心して利用できるよう管理運営を行っている。認証機や精算機のトラブル時にも、蓄積された知識やノウハウを生かし、迅速に対応した。特に夏季においては、安全確認のための定期巡回を強化し、車内に残り残される子どもがいないか等の事故防止に積極的に取り組んでいる。引き続き、さらなるサービスの向上を図り、利用者が安全に利用できるよう努めていただきたい。

令和6年度は新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、使用料収入が増加した。新規利用者に今後も継続して利用していただくため、場内美化に取り組みながら、アンケート等で伺える利用者の声を参考に改善を重ねていただきたい。また、満車となる日が増えることも想定されるため、場内の確認及び出入口付近での入場待ちの車列の確認を行い、適宜、振替駐車の実施等、対応をお願いしたい。

次年度の取組課題として、駐車場内給排気ファンガラリ清掃及び場内誘導矢印・柱等の各所塗装劣化箇所の補修を検討している。駐車場の利用状況を見ながら実施をお願いしたい。また、今後はキャッシュレス決済の導入に向けた機材更新の検討が見込まれるので、動向について注視していただきたい。

なお、ベルブ永山は築30年を迎え、多摩市専有部においては令和11年度までに大規模改修工事を実施する見込みであるが、駐車場の運用についても合わせて検討していきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>① 利用者利便性の向上</p> <p>以前からご要望が多くあったオープスタジオの申込時期の延長について、ご利用機会を広げるため、申込時期を5か月前から13か月前への変更を検討し実施した。（適用は令和7年4月1日～）。</p> <p>また、アンケートや窓口での直接の聞き取りなど、ご利用者からのご意見・ご要望を多く伺うよう努め、利用者アンケートにおいては、利用者登録をしている令和4年4月以降にご利用があった1,136団体へ一斉にメール送信する形で実施した。</p> <p>オンラインでの利用説明や利用者登録手続きも大変好評で、昨年度から引き続き積極的に案内を行った。</p>	<p>① 利用者利便性の向上</p> <p>オープスタジオの申込時期の変更については、全ての利用者登録団体へメールにてお知らせし、主な過去利用者へは直接ご説明し、問題なく移行できた。効果については次年度検証していく。</p> <p>利用者アンケートの回答数は123件となり、より多くのサンプルを収集することができた。アンケートの満足度調査では、5段階評価で「スタッフの対応」は大変満足・満足の割合が87%（普通・不満・大変不満13%）、「会場設備・備品」については大変満足・満足の割合が84.6%、「総合的な満足度」については、大変満足・満足の割合が89.5%といずれも高い評価であった。また、自由記述のご意見・ご要望も多数いただいた。高評価</p>	<p>① 利用者利便性の向上</p> <p>ご利用者からのご意見・ご要望について、令和6年度のご要望を形にすることができた例として、クラフトラボの貸出備品としてご要望があったイーゼルを購入したことや、貸館チラシラックに配架しているチラシの公演チケットが総合案内窓口で買えるのかわからないという声を反映して、総合案内窓口で販売を行っている公演のチラシに「チケット取扱い中」の掲示を行ったなど、利便性の向上に努めた。</p> <p>利用者アンケートについては、令和7年度も引き続きご利用中の全利用者登録団体へメールで実施し、多くの回答数を確保した</p> <p>うえで、ご意見・ご要望をできる限り反映し、より良い運営となるよう努めていきたい。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	貸館利用案内の改訂版を2年ぶりに作成（令和7年4月1日発行）。コロナ後の飲食にかかわる運用の変更、利用料金の訂正、表記方法を統一するなどわかりやすく手に取っていただけるよう更新した。	が24件あった一方で、要望・課題、不満、苦情が合わせて37件あった。 これらのアンケート結果を踏まえ、より良い運営となるよう改善に向け共同事業体内で協議を行い、可能なものから対応した。 その他、オンラインでの利用説明及び利用者登録手続き数が6件あった。	アンケートで寄せられた意見や要望の中には費用や施設の制約、制度の見直しを要するなど、すぐには対応が難しいものも含まれており、それらの対応方針を整理した上でどのように優先順位をつけて取り組むかが現在の課題になっている。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>② 貸館利用促進の取組み</p> <p>昨年度に引き続き、貸館営業を実施していくとともに、新たに利用者のニーズに応じて、会議室やオープンスタジオで飲食を行う際のケータリング会社を紹介できるよう、ケータリング会社への営業を行った(3社)。</p> <p>また、Google 広告出稿を2月に実施した。クリック後はパルテノン多摩ホームページのオープンスタジオ施設紹介ページへアクセスする形にした。</p>	<p>② 貸館利用促進の取組み</p> <p>貸館営業の成果としては、近隣大学の大ホール2日間、専門学校市民ギャラリー3日間の利用に繋がった。</p> <p>ケータリング業者の紹介については、営業を行った3社と連携し、ケータリングメニューのパンフレットを用意し会議室やオープンスタジオでのケータリングをご検討の方へご案内をしていった。研修会での食事、催しでの打ち上げ、管理組合の総会での食事、新年会や懇親会など様々な場面でケータリングの活用が進んでおり、利用者からも好評を得ている。</p> <p>Google 広告出稿の実績は、12日間で表示回数177,000回、アクセス数2,900件と多くのアクセスがあり、施設を知っていただく機会を設けることが出来た。今後は、この成果を踏まえ、より効果的な営業活動や貸館利用の促進に繋げていく。</p>	<p>② 貸館利用促進の取組み</p> <p>オープンスタジオの周知機会が多く、同施設の貸館利用率は昨年度比約10%向上した。貸館全体の利用率も昨年度比5.2%向上した。今後は、大・小ホールは平日の利用が少ないことから利用促進に向け、近隣の学校(中・高・大)への営業を強化していく。また、利用が伸び悩んでいる市民ギャラリーやキッチンラボの稼働率を向上させるための営業活動も課題となっている。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p><新たな取り組みまたは特色ある取り組み等></p> <p>③ 近隣団体との企画</p> <p>貸館利用促進につなげる取り組みとして、音楽大学との企画では、オープンスタジオにて金管五重奏の演奏者によるトークイベントを行い、その後に大階段下にてミニコンサートを開催した。</p> <p>また、「Tama lulu(多摩市子どもマルシェ実行委員会)」との企画では、オープンスタジオとクラフトラボを利用して、オープンスタジオにて「たまこマルシェ in パルテノン多摩」を、同時にクラフトラボにて多摩市内の企業の協力によるミシンを使ったペーパーケース作り教室を開催した。</p>	<p><新たな取り組みまたは特色ある取り組み等></p> <p>③ 近隣団体との企画</p> <p>音楽大学とのコンサート企画は参加者 46 名、「Tama lulu(多摩市子どもマルシェ実行委員会)」との企画はオープンスタジオの参加者が 550 名、クラフトラボの参加者が 20 名であった。</p> <p>参加した団体、企業から各方面にパルテノン多摩の施設紹介をしていただけることになった。</p>	<p><新たな取り組みまたは特色ある取り組み等></p> <p>③ 近隣団体との企画</p> <p>今後も貸館利用促進となる企画を検討し、施設の周知と貸館利用にも繋がるよう効果的に実施していきたい。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>④ 近隣公共施設等との連携による地域活性化 4階こどもひろば OLIVE、多摩市立中央図書館、多摩市教育委員会等と連携した。また、新規に屋外事業を実施した。</p> <p>その他、周辺事業者等との連携については、多摩センター地区連絡協議会の一員として、季節の催しに協力を行った。特に「ハロウィン 2024in 多摩センター」では、大階段下において、フォトスポットの設置や4階こども広場にスタンプラリーのポイントとしての協力も行った。</p> <p>また、大階段下を活用した事業として「東京多摩ファミリーフェスタ 2024」「TAMA TAMA FESTIVAL2024」等に敷地利用の許可を出すなどの協力を行った。</p>	<p>④ 近隣公共施設等との連携による地域活性化 実施等概要</p> <p>(ア) こどもひろば OLIVE 連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民学芸員企画「対話型鑑賞 おしゃべりミュージアム ミテ、みて、プラバン！」実施日：8/4(日)・8/13(火)、受講者：19人 市民学芸員企画「多摩発見トレーディングカード・TAMA プレカで遊ぼう」実施日：2/22(土)、受講者：37人 <p>(イ) 多摩市立中央図書館連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動演奏楽器ミニコンサート 実施回数：3回、入場者：110人 <p>(ウ) 多摩市教育委員会連携 企画展「多摩市百草・恋路稻荷神社の秘密」 会期：11/13(水)～2025年6/8(日) 入場者：17,995人 ※3/31まで</p> <p>(エ) 屋外事業 主催「変形バチカン3ミニライブ」 実施日：9/28(土)、入場者：158人、会場：大階段下特設ステージ</p> <p>(オ) 周辺事業者等との連携</p>	<p>④ 近隣公共施設等との連携による地域活性化 近隣公共施設の連携を継続するとともに、令和7年4月には多摩中央公園が開園し、多くの方々が来園することが想定される。これを一層のパルテノン多摩の認知度向上や来館者増につなげる機会と捉えると、中央公園に訪れた人をどのように館内に取り込むことができるか、今後の課題である。直接、公園からアプローチできるこどもひろばからミュージアムや特別展へ促す仕掛けをつくるなど、館内を回遊してもらえるように取り組んでいく必要がある。</p> <p>また、大階段や大階段下を有効活用できるよう、地域で活動する団体等に開放できる仕組みをつくることも今後の課題である。</p> <p>屋外事業は、機会を捉えて引き続き実施し、地域の賑わい創出につなげる。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ハロウィン 2024in 多摩センター」協力 フォトスポット利用者:11,520 人 スタンプラリー利用者:1,542 人 ・ 東京多摩ファミリーフェスタ 2024:4,700 人 ・ TAMA TAMA FESTIVAL2024:6,000 人 ・ ハローキティイルミネーションクリスマスショー:223 人 ・ 東日本大震災追悼キャンドルナイト:75 人 <p>地域で活動する団体をはじめ、多様な主体と連携し、大階段や大階段下等を活用した事業を展開することで、来館者数の増加に寄与するだけでなく、当館の認知度向上、施設間の回遊性、多摩センターの賑わい創出につなげることができた。</p>	

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日	<p>⑤ 文化芸術に触れる機会の提供</p> <p>子どもの頃から文化芸術活動の関心を高める事業や舞台芸術を鑑賞する事業を実施または実施に協力した。</p> <p>令和6年度は、中央大学落語研究会の協力を得て「パルテノン多摩 夏休み子ども落語会」を新規に実施。また、普段は見ることのできない大ホールの舞台機構などの裏側を舞台スタッフに説明してもらえる「小中学生のための大ホール体験会」や親子で音楽とタップダンスを身近に楽しめる「Welcome コンサート」も新規に実施した。</p> <p>6年ぶりの実施となった「こころの劇場 多摩公演」は、子どもたちに演劇の感動を届けるプロジェクトとして子どもたちを無料で招待する講演であり、この趣旨に賛同し、共催事業として大ホール等の施設を提供した。子どもたちが舞台アーツに触れる参加体験プログラムの「Poco Poco Festa2025」は提携事業として引き続き実施した。</p>	<p>⑤ 文化芸術に触れる機会の提供</p> <p>実施等概要(入場者人数には大人も含む)</p> <p>(ア) 主催「パルテノン多摩 夏休み子ども落語会」実施日:8/9(金)、入場者:51人</p> <p>(イ) 主催「小中学生のための大ホール体験会」実施日:8/18(日)、入場者:78人 協力:フラットステージ</p> <p>(ウ) 主催「Welcome コンサート」 実施日:8/24(土)、入場者:168人</p> <p>(エ) 共催「こころの劇場 多摩公演」 一般社団法人 舞台芸術センター・劇団四季による児童無料招待公演 実施日:6/11(火)~6/14(金)、入場者:市内外の児童(小学6年生)8,004人</p> <p>(オ) 提携「Poco Poco Festa2025」 実施日:3/9(日)、入場者:4,333人 主催:認定NPO法人 多摩子ども劇場</p> <p>これらの事業を通じて、子どもたちにパルテノン多摩に親しみを持ってもらった。また、子どもたちに新しい文化に触れる機会を創出し、鑑賞の魅力を伝えることができた。</p>	<p>⑤ 文化芸術に触れる機会の提供</p> <p>子どもの頃から文化芸術活動の関心を高める事業や舞台芸術を鑑賞する事業を昨年度に比べて数多く実施等(実施協力を含む)できたことで、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけとなった。</p> <p>子ども以外の文化芸術にアクセスしにくい立場にある方々にも、気軽に文化芸術に触れられる機会を広げていくことが今後の課題である。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パートナー多摩共同事業体	令和3年12月14日	⑥ 特別展・企画展の開催 毎年度テーマを変えて、特別展1回、企画展2回を開催している。令和6年度の特別展では、クラウドファンディングを活用し、街の姿を航空斜め写真に記録し、展示した「変わりゆく多摩ニュータウン」を開催した。また、前半の企画展では、多摩ニュータウンに鉄道が開通して50周年という機会を捉えて、「鉄道が街にやって来た」を開催した。後半の企画展では、多摩市教育委員会と連携し、「多摩市百草・恋路稲荷神社の秘密」を開催し、神社の移転により寄贈された数多くの伝来資料を展示した。	⑥ 特別展・企画展の開催 実施等概要 (ア) 特別展「変わりゆく多摩ニュータウン」 会期:5/3(金祝)~5/27(月)、入場者:7,094人 (イ) 企画展「鉄道が街にやって来た」 会期:5/30(木)~11/10(日)、入場者:34,569人 (ウ) 企画展「多摩市百草・恋路稲荷神社の秘密」 会期:11/13(水)~2025年6/8(日) 入場者:17,995人 ※3/31まで 令和6年度の展示事業は、上記の他、関連イベント、関連講演会を含めると、鑑賞者数は74,619人となり、リニューアルオープン以降、最多となった。 「変わりゆく多摩ニュータウン」展では、令和5年度に多摩市を中心に撮影した航空斜め写真のパネルと昭和・平成時代に撮影したものを対比させて展示することで、多摩ニュータウンの街の変貌をわかりやすく展示し、鑑賞者に住んでいる街への興味と愛着を持ってもらう機会とすることができた。	⑥ 特別展・企画展の開催 引き続き、地域博物館として、多摩ニュータウンをはじめとして、多摩市の歴史・民族・自然など地域に根差したテーマを題材に、時機を捉えた展示を心がける。展示にあたっては、関係機関との連携、市民学芸員・市民研究員等との協働を取り入れながら、調査・研究を進める。展示事業とあわせて展示解説や講演会、関連イベントを開催し、地域の方に興味・関心を持っていただくようにすることで、来館者の増加につなげる。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立複合文化施設及び多摩中央公園内駐車場	パルテノン多摩共同事業体	令和3年12月14日		「鉄道が街にやって来た」展は、街の歴史に興味を持つ人や鉄道ファンその他、鉄道模型の展示、イベント時には関係鉄道各社の公式キャラクターگریーティングなどが親子連れの興味・関心を引いたことなどから、多くの鑑賞者数となった。「多摩市百草・恋路稲荷神社の秘密」展では、今回の展示にあたって調査研究を深め、明らかになったことを紹介するとともに、3回の関連講演会を開催し、それぞれに専門家を招き、時代背景や各地の事例、展示資料の意味等を考えることで市民の学びにつなげることができた。	

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
市民活動・交流センター及び多摩ふるさと資料館	多摩コミュニティパートナーズ	令和3年7月1日	<p>1期目の指定管理期間最終年度となる令和6年度は、目標値に対して前年度まで未達であった利用率向上に力を入れて取り組みました。新規登録団体数は95団体と、これまでの様々な取組により施設認知度が向上しており、広報活動による結果が出ていると考えています。</p> <p>また団体利用だけでなく個人開放事業を拡充し、空き枠を有効に活用できるよう取り組みました。さらに会議室の有効活用として空き枠を自習室として地域の方が勉強や読書等で利用できるよう開放しました。さらに子育て世代や若者の利用を促進するため、公式 Instagram を開設し、施設の情報を発信しています。</p>	<p>目標値である年間利用者数123,000名、利用率55%を目指して取組み、利用者数の実績は136,153名と、目標比で13,153名増、前年比で8,833名増となりました。台風による土砂災害警戒区域での休館、電気設備の故障による休館がありながらも、利用者数を増加させることができました。平均利用率は55.5%となり、前年51.1%と比べて4.4ポイント上昇しました。</p> <p>自主事業の個人開放での年間の収入は454,450円となっており、前年比で209,350円の増収となりました。課題であった隙間時間や夜間利用率の向上につながっています。</p>	<p>前年度課題となっていた夜間の利用率については、時間帯別利用率で比較するとレッスン室、音楽活動室、体育館の利用率は格段に向上しています。口コミにより学生団体や働き世代の利用が増えたことや、個人開放が浸透してきていることが功を奏していると考えています。創作活動室やレクルームについてはまだ夜間の空き枠が目立つため、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>今後の課題としては、まだ伸びしろがある空き枠や夜間の利用率の向上に取り組むつつ、子育て世代へアプローチをして利用を促してまいります。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
関戸・一ノ宮コミュニティセンター	関戸・一ノ宮コミュニティセンター 運営協議会	令和5年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・つむぎ館まつり ・こどもまつり ・共催、連携事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・つむぎ館まつり 2,000 名来場 新たに音楽団体の参加実施 ・こどもまつり 一ノ宮児童館共催 320 名来場 ・音フェス(地域連携)、歴史スポットウォーキング(公民館共催)、つむぎ館セミナー(包括共催)など 	<ul style="list-style-type: none"> ・つむぎ館まつり、こどもまつりを中心に前年並みの事業を開催できた。 ・運営委員の高齢化に対応すべく、市や近隣の学生などの助力が必須 ・事業の活性化には、運営協議会の組織強化が必要
桜ヶ丘コミュニティセンター	桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年に引き続き、夏まつりを始め、大型イベントの開催をフルスケールで行うことが出来た。 ○感染対策を徹底したうえで、食事の提供を行う事業(食事会)を拡大した。 ○新規開館後のさらなる食育事業の充実を目指し、保健所とも相談の上で調理室改修案を作成した。 ○新規開館後の運営がスムーズに進むよう、これまでの事業資料をまとめ、改修に向けて更新が必要な物品の洗い出しや在庫の確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏まつりは昨年に続き盛況であった。普段利用のない住民が、地域外の方の参加も多く、ゆう桜ヶ丘を知ってもらい良い機会となった。 ○食事の時間を通して、近隣の方同士の交流が生まれ、これまでのイベントとは異なる層の参加者を集めることが出来ている。 ○法令に則った形での飲食の提供が可能になってきた。食事を通じての交流の重要性を実感、認識できた。 ○ゆう桜ヶ丘設立以来手つかずの資料や物品の確認ができた 	<p>今後の課題</p> <p>夏まつりは多くの集客に成功したが、地域住民に十分な食券や参加券が行き渡らない状況があった。</p> <p>本年度の9月より約1年半休館することで、多くの事業が中断される。それにより各イベント、事業の継承が難しくなると考えられ、その継承をどのように行っていくかが課題である。休館中の運営委員のつながりや意見交換を頻繁に行える体制を構築することが必要である。</p> <p>これまでと同様、運営委員の新しい担い手、特に若手の発掘が必要である。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
乞田・貝取コミュニティセンター	乞田・貝取コミュニティセンター 運営協議会	令和5年4月1日	<p>○コロナ禍後本格的に事業を再開するにあたり、運営委員の高齢化が顕著となったため、現状に即した組織の再編を検討した。</p> <p>○「秋そばまつり」について、コロナ禍前はそば(うどん)作りを中心とした実行委員会形式で開催していたが、コロナ禍のため運営委員会ではそば打ち研修として技術を保持し、令和5年度から部の事業として実施。その後のコロナ対策緩和のため今年度は実行委員会形式で行った。</p>	<p>○組織の再編にあたり、総務部で検討を重ねた上で、運営委員研修においては運営委員からも幅広く意見を求めた上で討議を行った。</p> <p>○「秋そばまつり」に関しては実行委員会形式で実施したものの、5年振りの実施であり検討及び準備不足であった点もあった。</p>	<p>○組織の再編では細分化していた部をまとめた上で事業数はほぼ維持した形で運営委員が参加しやすい環境づくりを前提としたものになった。</p> <p>○「秋そばまつり」については詳細な点についてはコロナ禍後ではあるが浅い為、現状に即した開催内容は手さぐり状態であるものの、地域団体との合同での実行委員会形式としては基本的に問題なく機能をしている。</p>
鶴牧・落合・南野コミュニティセンター	鶴牧・落合・南野コミュニティセンター 運営協議会	令和5年4月1日	<p>①前年の「トムハウスまつり」は1日のみの開催でしたが、コロナ禍の収束もほぼ確実との判断から、2日間の実施に挑戦しました。落合児童館を含み21団体、近隣商店街4団体の参加を得てたいへん盛り上がりました。コロナ禍の閉そく感から一気に開放された実感できました。</p> <p>②「高齢者食事懇談会」では参加費100円アップ(400円)にもかかわらず、定員をうめています。</p>	<p>左欄に記した事業以外に運営協議会主催の実施も多くあります。</p> <p>実施後の振り返りを行い、内容の確認、参加実績、受付時の問題点などさまざまな事項が見えてきます。そういった事柄が次の実施の参考になり、改善や継続の判断につながります。</p> <p>「利用者懇談会」はこれまでになく雰囲気も良くそれぞれのグループも活発に活動の内容やサークルの現状などを聞くことができました。</p> <p>利用にあたっての要望については、丁寧にお答えできたと評価しています。</p> <p>今後もこの形式でさらに有効な会にします。</p>	<p>左欄に記した通り、主催事業のほか共催事業も行っています。</p> <p>近年、共催事業として他の団体と協力関係を築き実施事業に広がりを得ることが多くなりました。</p> <p>運営協議会の課題は構成員の高齢化です。まだ何とか対応できていますが、近い将来には結論を出す必要に迫られています。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
鶴牧・落合・南野コミュニティセンター	鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	<p>③多摩市社会福祉協議会と共催事業「ふれあいトムとも」はスタートから14年目を迎えました。年間5回開催で参加約200人の実績となっています。何よりも、トムハウスエリアの団体と個人のさまざまな情報共有を実現し、有益な情報発信を行うことができました。</p> <p>④昨年度スポーツ関連事業として「スポーツ吹矢」に取り組み好評を得て再度開催しました。指導団体「多摩市スポーツウエルネス吹矢多摩中央支部」の皆さまに感謝します。</p> <p>⑤市および都委託事業「スマホ相談会」は相変わらず盛況でした。ますますニーズがあることを想定して、実施に積極的に取り組む計画です。</p> <p>⑥「利用者懇談会」は実施形式を見直しました。参加者をグループに分け運営協議会員もその中に加わり和やかに意見交換及び利用の説明等おこなうことができました。</p>		

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
貝取コミュニティセンター	貝取コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	<p>○創立 30 周年を迎え、記念式典を開催。支えていただいた皆さんとこれまでを振り返りながら感謝の会となり、あらためて地域に根差したコミュニティの場となるよう、これからも活動していこうと思います。1.運営協議会の構成メンバーが高齢になっていますが、企画イベントは全館事業としての文化祭、納涼の日、こぶし館まつり、冬のロビーコンサートともつづすことなく、むしろ盛況に評判良く開催できました。</p> <p>2.ロビーコンサートは、ミニロビーライブなどフリースペースを利用する皆さんに喜ばれている。</p> <p>3.自主財源確保として続けているお菓子の販売、パン販売、そして喫茶コーナーでのドリップコーヒーも楽しみに来館する方が増えています。</p> <p>4.季節ごとのギャラリー展示(おひな様、こいのぼり、五月人形、七夕、クリスマス、お正月など)は長く続けてきたこぶし館の名物で、「いつからですか?」と問い合わせをいただくほどです。</p>	<p>○貸室利用は新規登録団体も増え、相変わらずよく使われているが、フリーで来館する方も多く、ロビーでお茶を飲みながらの会話、窓際で軽食を食べながら過ごす方、本を読みに立ち寄りの方などさまざまに利用されている。「最近この地域に引っ越してきたのですが、、」と地域の情報を得たい方の来館もあり、そうしたことにも対応できる情報の発信スポットとしての役割も担えればと思う。</p>	<p>○自主企画の運営スタッフ不足は、お祭りにおける市からのサポート、事務局スタッフのバックアップでうまく回っていたと思うが、基本的な運営委員の数は高齢化で減少している。</p> <p>「独自性のある事業運営」と大上段に構えず、関わる者が気持ちよく過ごせる空間づくりを心掛け、地域の皆さんがふらりと立ち寄り、なくてはならない場所を目指したい。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
聖ヶ丘コミュニティセンター	聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	○貸室利用後、利用者が備品類の消毒を行えるよう、引き続き消毒液、キッチンペーパーの消毒セットと、ゴミを持ち帰るためのビニール袋を用意した。 ○共用部の椅子・テーブル等についても使用後の消毒を引き続き実施した。 ○貸室の鍵受渡しを変更し、利用者の開錠して頂く事にした。 ○和室の定員を10名から15名に戻した。 ○プレイルーム以外の貸室内での飲食ができるようにした。但しアルコール類は禁止	運協委員を筆頭に利用者、スタッフが一緒に、貸室利用後の机、椅子の消毒など継続し、ゴミを持ち帰って頂くことにより部屋を綺麗に保つことができている。 鍵受渡しを変更したことにより、貸室のセキュリティ対策になった。 和室の定員を15名にし、貸室内での飲食ができるようになって利用者数が増えた。	各部会の事業も内容、参加人数を臨機応変に対応し継続をする事ができた。 一部の事業を除き、昨年度よりも参加人数を増やして実施することができた。 こども夏まつり、ひじり館まつり等の事業を実施する事によって、地域の人たちの足が「ひじり館」に向くようになり、子どもたちの笑顔も戻ってきた。 今年度も引き続き、公共施設として利用者の安全を第一に考え、現在行っているコロナ感染症対策の一部は継続していく必要があると考える。また、継続をする事で利用者が安心して「ひじり館」を利用できる。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
愛宕コミュニティセンター	愛宕コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	<p>館のイメージチェンジ(老人ホームから幼児からお年寄りまで、多世代共生・多世代交流の開かれた場へ)に注力して取り組みました。</p> <p>① バスから見えるように、ガラス壁面に案内看板「みんなのかえで館 気楽にお立ち寄りください。」を張り出しました。</p> <p>② ピクトグラム看板、トイレ利用できます幟を掲示しました。</p> <p>③ 親子連れの来館者にスタッフが積極的な声掛けを実施しました。</p> <p>④ コーヒー100円デー設定(20人以上イベント日等)し、幟を掲示しました。</p> <p>⑤ 提案箱を3個設置し、広くご意見・提案をいただきました。</p> <p>⑥ 館内案内版、エレベーター案内版を設置しました。</p> <p>⑦ AEDの設置場所を事務室内から1階トイレ脇の通路に移設しました。</p>	<p>○新規の来館者が徐々に増えてきています。特に向かいの幼稚園の若い親子連れが、リピーターとして来館され、幼児コーナーで遊んだり、風船を持ち帰る姿が見られるようになりました。</p> <p>○イベント参加者がすぐに帰るのではなく、ロビーで100円コーヒーを飲みながら、お仲間と談笑されている方々が増えていきます。</p> <p>○図書コーナー、ロビーの活用についての貴重なご意見・提案をいただきました。</p>	<p>○来館者を増やすため、イベントだけに頼っていた運営ではなく、いかに「来館しやすい、利用しやすい館」を作っていくかに注力して運営していくことを検討していきます。</p> <p>○ロビー、図書コーナーのレイアウト等の変更で、学習コーナーの創設等を検討しています。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
唐木田コミュニティセンター	唐木田コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	<p>○令和4年度から再開した地域連絡会では多摩中央警察署の方にもご参加いただいた。</p> <p>○多摩市社会福祉協議会の「夏のボランティア体験」受け入れに初めて参加した。</p> <p>○鶴牧中学校の改修工事に伴い、菖蒲館にて投票所を開設した。</p>	<p>○唐木田地区の犯罪発生状況などの話から地域の防犯について活発な意見交換ができた。また防犯講習部分の要点録を欠席の自治会・管理組合へ送付(フィードバック)することにより、今後の地域連絡会の有用性を示し、地域連携として菖蒲館の役割が多少なりとも果たせた。</p> <p>○子供や学生の参加、唐木田にお住いの方のお孫様の参加もあり、こうした小さな体験の積み重ねが将来の地域まちづくりへの意欲へつながると感じた。</p> <p>○初めての経験で委員もスタッフも不安が大きく、猛暑の中の案内係としての対応に苦勞したが菖蒲館を理解しているスタッフが担当することでスムーズに対応ができた。また初回にしっかりと案内を行ったことで2回目以降も含めトラブルもなく終えることが出来た。また投票のために菖蒲館に初めて訪れた方から菖蒲館に対する質問も多く、菖蒲館をより多くの地域の方へ知っていただける機会となった。</p>	<p>○委員と協力員の合計数は昨年とほぼ変わらないものの、協力員から委員へ再入会するというケースが見られるようになった。この制度を活用し小さな関心・興味を引きだせるように、気軽に参加できるような環境を整え、次世代を担う現役世代を含め全世代の入会増進を図りたい。</p> <p>○スタッフについては年々複雑化・多様化する業務を担える人材の確保に苦慮しているが、令和6年度のWi-Fi導入やキャッシュレス決済の導入も落ち着き、令和7年度は契約満期によるスタッフの入れ替えも少ない年度であることから、業務内容の見直し、委員への活動サポートの見直しを行い、また初心に帰り窓口・来館者対応を丁寧に行っていくことにより菖蒲館が全世代のサードプレイスになれるよう努めたい。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
和田・東寺方コミュニティセンター	和田・東寺方コミュニティセンター運営協議会	令和5年4月1日	<ol style="list-style-type: none"> 新規事業の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ・かるがもっこ広場:多摩保育園の出張広場が終了したため、乳幼児や保護者向けの居場所づくりとして毎週木曜日に実施 多世代交流 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の大学や地域のボランティア団体との共催事業などにより、地域の大人と子供たちが繋がるきっかけ作り(多世代交流)の取り組み かるがも館の認知度を高める取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムの試行(7年度より正式開始) 広報誌の発行やホームページの運用に加え、インスタグラムの運用試行 ・かるがも館祭り 参加型のイベントや近隣大学の学生によるパフォーマンスなど新たな取り組み コミュニティルームの利用向上など <ul style="list-style-type: none"> ・利用率はほぼ横ばいだが、利用者数は 25.5 千 →28.5 千と増加、運協による事業も回数や参加人数も増加 	<ol style="list-style-type: none"> 新規事業の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ・かるがもっこ広場は運用協力するサポーターも増加し毎回 10 組以上の参加があり好評 多世代交流 <ul style="list-style-type: none"> ・今まで成人向けの事業が多かったが、新たに多世代交流の機会が出来た かるがも館の認知度を高める取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムの運用は今まで弱かった若い世代向けの情報発信ツールとして有効 ・かるがも館祭りの新たな取り組みについては好評であったが、運用については改善の余地がある コミュニティルームの利用向上など <ul style="list-style-type: none"> ・利用の増加については、かるがも館祭りや音楽室の個人利用が寄与しているが、ロッカーの増設など利用者の利便性を高める取り組みも評価され、また運協の活発な活動も利用向上に寄与 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業について <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の事業は、計画通り実施できた ・新たな取り組みや多世代を対象とした事業を引き続き展開する ○ かるがも館祭り <ul style="list-style-type: none"> かるがも館祭りは、地域住民にとっても、運協にとっても重要な催しであり、今後も実施したい ○ 運営協議会委員・協力員の増加 <ul style="list-style-type: none"> 委員の高齢化により減少が続いていたが、様々な機会を捉えた活動により、委員・協力員共に増加することができたが、引き続き増強を図りたい ○ コミュニティルームの利用向上など <ul style="list-style-type: none"> 今後とも利用者の声を聴きながら、利便性を高め、利用向上を図る

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	体育館内のレストラン運営事業者に市内の福祉団体を選定し、運営を継続しました。	オープン当初より、メニュー手作りや利用者目線での運用を行うことでレストラン利用者は昨年度に続き増加し好評を得ております。また、利用者とは別に働いている従事者のご家族からも就労の場として感謝と喜びのお声が届いています。	主だった課題は無し。
			個人開放事業「ボッチャ」を武道館にて開催	武道館での開催を年々要望されるお声があり、体育館まで通うには距離があり武道館での開催を希望されたお声を基に新設となります。「ボッチャ」を新設したことにより、利用者からお褒めの言葉をいただくのと同時にボッチャの普及や運動する喜びがあると大変嬉しいお声をいただきました。	主だった課題は無し。
			多摩市のスポーツ推進を担う、「スポーツ推進委員」に当グループの職員を継続任命しました。	当グループより職員を派遣させ連携の強化を図っております。当グループ管理施設をスポーツ推進委員の活動で利用されることも多く、推進委員に当グループの職員がいることでスムーズな連携・柔軟な対応が可能です。また、当グループの事業を実施する際は、スポーツ推進委員の皆様にお手伝いただくこともあり、市民協働の推進を図っております。	主だった課題は無し。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	一部運営の委託先に多摩市シルバー人材センターを継続選定しています。	シルバー世代の雇用機会創出にも寄与しております。また、シルバー職員の前職の知識・経験を現場でも発揮いただく場面も散見され活躍いただいております。	主だった課題は無し。
			市民協働を推進しています。	物品・工事などの発注の際は市内業者を優先して選定しております。また、当グループとして大栗川の清掃活動に参加しましたが、天候の影響を受け中止となりました。馬引沢自治会の消防訓練に参加し市民協働を推進しています。庭球場は、落葉時期の落葉集積に利用者のご協力を頂いており、また一部整備も担って頂いております。庭球場の他、野球場、球技場の利用後整備に関しても利用者にご協力を頂いております。当グループによる本格的な整備以外で利用者の御協力を頂くことで、施設を良好な状態に保つことができていると考えております。「多摩地域企業・大学等連絡会(ゆるたまネット)」にも加入をして、市民協働の強化を図っております。	主だった課題は無し。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立総合体育館・多摩市屋外スポーツ施設及び多摩東公園	多摩市健幸スポーツパートナーズ	令和2年4月1日	トレーニング教室を開催	トレーニング教室のチラシをきっかけに運動を始めた方やトレーニング教室をきっかけに体育館に通うルーティンが出来たことに大変喜ばれている方の意見も数多くいただいております。	主だった課題は無し。
			一本杉公園野球場「個人開放バッティング体験会」	硬式球を自由に使用できる公園や普段は使用しない硬式球での練習を行う利用者の参加もあり、好評の意見をいただいております。	主だった課題は無し。
			こどもを対象とした新たな事業を実施しました。	通年行われている、幼児を対象とした事業の他に「小学生の部」を追加し、小学生が参加できる新しい運動教室の場を開催しました。	主だった課題は無し。
			武道館の自主事業を増設しました。	稼働率の低い特定曜日の会議室を使用し、「ZUMBA」教室を新設しました。	主だった課題は無し。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	01) 従前より、総合福祉センターのネーミングライツ公募に応募し、継続して選定されています。 「二幸産業・NSP健幸福祉プラザ」	01) 従前より、館内表示で名称が変わった事の周知と電話応答で「健幸福祉プラザ」を継続して使用しています。多摩市広報や多摩市社会福祉協議会の「福祉だより」など、発行物に積極的に使用していただいております。 施設のPRと多摩市の歳入の確保にも協力しています。	01) 総合福祉センターとの併記を行いながら、利用者への周知に努めています。
			02) 継続して必要な什器等に耐震固定を行っています。	02) 継続して必要な什器等に対し耐震固定を行っています。概ね完了しております。	02) センター利用者用貸出ロッカーも耐震固定を施し、安全に使用されています。
			03) レンタルの節水器を安価な節水装置に交換し、節水を継続した。	03) 通常営業や利用者増加により、水道使用量は増加しているため、節水の効果が出ています。	03) 節水器を市販の安価な装置品へ交換することにより、レンタル料予算の節約につなげました。
			04) 多摩市と友好都市提携を締結している「長野県富士見町」の物産展と写真展を企画しましたが、新型コロナから中止しています。	04) 今後、市文化・生涯学習推進課と調整し、友好都市「長野県富士見町」の紹介から始め、物産展実施に向けたフェーズを作っていきます。	04) 富士見町との交流はできなかった。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	05)温水プール駐輪場の一部にサイクルラックを設置中です。	05) サイクリストが多い南尾根幹線道路の休憩場所として利用拡大したい。 また、市の交通施策に協力して、総合福祉センター、温水プール両館の駐輪場の一部を利用したシェアサイクルの設置を継続中です。 多くの方が利用することができております。	05)サイクリストが多い南尾根幹線道路の休憩場所として利用拡大し、プールの施設利用につなげたい。 また、シェアサイクルは、市の交通政策のひとつとして協力していきます。
			06)総合福祉センター3階の「図書コーナー」と「こいの広場」にパソコンやモバイル機器の充電用として専用コンセントを設置しています。	06)利用者の利便性の向上を図るため、継続して設置しています。	06)継続して設置することで、コンセントの不正使用を防ぐ結果となっています。
			07)「第5回多摩市ポッチャフレンドカップ」大会は参加申し込み団体が多く、出場することができませんでした。	07) 次回以降も参加を申し込み、地域との交流を継続します。	07) 市内のポッチャ団体の増加と、プレーの腕前が上がっている気がします。館内でもポッチャ講座や大会を実施します。
			08) 引き続き総合福祉センター3階ペデ南側通路にプランターを配置し、ヒマワリの栽培を行いました。	08) 指定管理者がヒマワリを栽培し、館内に配置し、施設美化に努めました。 施設テナント「障害デイ・あんど」、「啓光えがお」の利用者が水やりをしてくれ、交流の場にもなっています。	08)3階通路でヒマワリを栽培し、利用者に鑑賞してもらいました。 また、センター前バス停前やプールエントランスにもプランターを置き、美観にも貢献し、来館者にも好評でした。 ゴーヤのグリーンカーテンにも取り組んでいます。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	09) プール利用者の中で特に問題行動を起こす利用者に対し、多摩市、多摩中央警察署と連携し、文書による警告を行っていましたが、本年は文書による警告はありませんでした。	09) 警告はありませんでした。令和7年4月施行の東京都カスタマーハラスメント条例にむけ、ガイドラインの検討を進めています。その後、問題行動は出ておりません。ご意見や苦情などにも適切に対応しています。	09) 今後も引き続き、問題行動を起こす利用者の行動を記録するとともに、個人が標的になることがないように組織として対応していきます。
			10) 南鶴牧小学校2学年「まちたんけん」学習や青陵中学校、稲城市立第六小学校、多摩永山中学校の職場体験を総合福祉センター・温水プールで受け入れました。	10) 各施設の仕事情容や清掃工場からの余熱利用、機械室等のバックヤードなどの見学、説明を行いました。また、職場体験を受け入れるとともに、施設のPRも行いました。	10) 今後も地域の教育機関との連携を図って参ります。
			11) 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなど感染症対策は常に注意しています。	11) マスクの着用は個人の判断としましたが、マスクの着用は推奨しています。検温器、消毒剤の設置は継続しています。	11) 施設内のパーテーションを撤去しました。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	12)有料広告営業については、計2件が継続しています。	12) 新たな広告掲出場所を検討していきたい。	12) 獲得広告を継続していきたい。 新たな広告媒体としてサイネージを活用するため、取扱要領を作成しました。 広告取り扱いについて関係課と協議したい。
			13)多摩市がホストタウンになっている「アイスランド共和国」を、市が取り組む「アイスランドウィーク」に協力し、パラリンピック競泳チームの事前キャンプの練習会場として協力したこと、アイスランドの地形や観光スポット、料理など紹介し、その魅力を発信する。	13)パラリンピック選手の練習会場として受け入れた実績をパネルにして紹介しています。「アイスランドウィーク」に協力し、アイスランド共和国のホストタウンであることをパネル展示により周知しています。 この期間にアイスランド国旗の掲揚をしました。	13)今後も市に協力し、ホストタウンであるアイスランド共和国を紹介していきたい。 アイスランド料理調理実習の実施やアイスランドウィーク事業にも協力していきたい。
			14)引き続き温水プールやトレーニングルームのシャワー水温度低下を防ぐため、シャワー水栓の交換を行い、随時更新しました。	14) 今年度は、シャワー水温が安定せず、水温や水圧のご意見を多くいただいた。 原因箇所を特定して改善した。	14)常に快適で安定した水温確保を行っています。
			15)トレーニングルームで「初回講習」、「簡易初回講習」、「時間外講習」を継続しています。	16)トレーニングルームの利用者の要望を聞き取り、利用しやすい施設運営に努めます。	17) 今後も引き続き、利用者が利用しやすい仕組みづくりを行います。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	16)多摩市スポーツ推進委員の選出を行い、継続して協議会へ参加しています。	16)引き続き指定管理者から委員を選出し、プール職員がスポーツ推進委員として活動しております。	16) 他のスポーツ推進委員と協議しながらスポーツの普及、振興を目指し、市民の健康増進・体力向上に努めております。
			17)災害時の避難駐車場として総合福祉センター、温水プール両施設の駐車場開放などを取り決めた「災害時の駐車場開放についてのマニュアル」を令和2年度に作成し、現在も継続して運用しています。	17)災害発生時のスムーズな駐車場開放と避難中の施設利用範囲を定めたマニュアルで、災害時に活用できるよう日頃から備えています。 令和6年8月29日の台風10号の接近では、両施設の駐車場の開放を行いました。(避難車両受入0台)	17) 台風10号接近では市内に避難指示が発令され、駐車場の開放を行ったが、避難車両はなかった。市民への周知方法など調整していきたい。
			18)令和3年度から、多摩市教育委員会と連携し、市内小学校の水泳授業の受け入れを継続中です。 ・南鶴牧小学校(令和3年度から) ・大松台小学校(令和4年度から) ・東落合小学校(令和4年度から) ・西落合小学校(令和4年度から) ・帝京大学小学校(令和5年度から)	18)学校設置プールと違い、天候に左右されず授業をすることができることや、児童の泳力別指導ができることにより、児童の泳力向上につながっています。	18)専門指導員による指導、監視体制の中、学校教諭の負担軽減を考えると有効な事業だと考えています。 開始から3年が経過し、双方提案事項も出てきた為、より良い水泳指導ができるよう、引き続き事故防止を第一に、努めてまいります。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	19)令和3年度より、老人福祉センターの運営管理を多摩市社会福祉協議会から引き継ぎを受け、運営しています。	19)コロナ前の利用状況の回復を目指して事業を実施しました。制度改正から同好会の減少や高齢者の利用控えもありますが、新しい同好会づくりの支援、会員募集などに協力して利用者増加を図っています。	19)同好会の令和6年度からの制度改正も、市高齢支援課、福祉総務課と連携して着実に推進するとともに、利用者に寄り添い、丁寧に説明を行いご理解をいただきました。
			20)ジャグジープールのレジオネラ対策及び過マンガン酸消費量対策を実施するため、換水作業を週1回実施しました。	20) 週1回の完全換水作業を継続して実施しております。休場日のない繁忙期は夜間作業により対応し、レジオネラ対策及び過マンガン酸消費量対策を実施しています。	20)ジャグジープールのレジオネラ対策及び過マンガン酸消費量対策により、水質の安全確保に努めます。
			21)温水プール内、待合ホール通路に冬季の寒さ対策として間仕切りのビニールカーテンを設置しました。継続して設置しています。	21)室温の温度差は、ヒートショックにつながる課題となるので、ビニールカーテンを施し対策してまいります。	21)利用者からも改善効果の声をいただいております。施設内の温度差解消などの課題にも取り組み、快適な環境でご利用いただけるよう努めていきます。
			22) 総合福祉センター、温水プール両館において、無料公衆無線LANを設置しました。両施設合計8台設置、稼働中。	22) スマートフォンやタブレット端末、パソコンなどのデジタルデバイスを使用する施設利用者の利便性向上及び、高齢者のデジタルデバイス解消のための環境整備を継続しています。	22)両施設の共有部分で使用できる環境として今後も継続していきます。災害に対応するため、館全体の公衆無線LANについては、市と協議しながら進めていきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業（セールスポイント）、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、（まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか）を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	23) 継続して、総合福祉センター、温水プール両館において、「赤ちゃん・ふらっと事業」、「子ども110番」に登録しています。 今年度は、新たに「こどもを守るネットワーク」に登録しました。	23) 多摩市の子育て支援につながるサービスであるとともに、当施設のPRにもなるものです。 子育て世帯や次世代を担う子どもたちが安全で、安心して地域で生活、活動ができるように支援を考えていきます。	24) 市の子育て支援施策にも協力していきたい。 子どもたちが安心して遊びや活動ができるよう見守り・声掛けが必要である。
			24) 2月の入退場システム更新に併せて、券売機・精算機によるキャッシュレス決済及び、立体駐車場料金キャッシュレス決済を開始しました。 また、福祉センターでも、ポスレジ・ステラ端末を設置し、キャッシュレス決済に対応しました。	24) 市の施策であるキャッシュレス決済に取り組み、総合体育館との相互利用を含む、施設予約による利用料金キャッシュレス決済に続き、当日券や駐車料金などすべてのキャッシュレス決済が対応となり、市民、利用者の利便性向上に努めた。 また、更新に併せ、要望のあった年間利用券紛失時の再発行機能を追加しました。	24) 温水プール及び、総合福祉センターにおいて、キャッシュレス決済に対応できるようになりました。
			25) インボイス制度対応 施設内で使用する領収証(書)、レシート等について、グループ代表企業である二幸産業(株)のインボイス番号や消費税率、税額等必要事項が印字し、適正に対応しています。	25) 消費税納税者の対応として、施設料金の他、館内でグループ企業が扱う領収証(書)にも必要事項が記載(印字)をされるよう対応しています。	25) 制度に合わせて対応してまいります。 また、老人福祉センター事業費に係る指定管理料において、消費税の取り扱いに誤認識があったため、過払い分を市に返納した。今後も、適正な執行に努めてまいります。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	二幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	26) 総合福祉センター3階のロッカールームは、同好会活動のほか、一般団体の使用も継続している。	26) 年間貸出ロッカーは、キーボードや麻雀台など大きなものを保管できるため、各団体から喜ばれており、利用者のサービス向上につながっている。	26) ロッカー内の荷物は自己責任で管理していた。トラブルなく、利用されている。
			27) しごと・くらしサポートステーション就労準備事業で生きづらさを抱える方々を受け入れ、生活リズムの安定、作業訓練などを開始しました。	27) 10月から月2回のペースで今まで3名の方々を受け入れ、園芸作業、除草作業、創作活動などをおこなった。結果として、2人が就職し、ひとはアルバイトによる就労体験を継続しています。	27) 生活に生きづらさを感じたり、ひきこもりへのアプローチは難しいものがあるが、指導員の助言を受け、受け入れを継続している。就労に限らず、この施設に立ち寄れる居場所になればと考えています。
			28) 明治安田と事業連携協定を締結 健康測定など館内イベントで協力をいただいていた明治安田生命保険相互会社と事業連携協定を締結し、健康・体力づくり、福祉・子育て支援、スポーツ振興など展開していく。	28) 8月アクア祭「健康測定」、10月快汗スポーツDAY「血管年齢、ベジチェック」、福祉フェスタ「血管年齢、AGE's測定」、2月「フレイル予防研修会」講師などの協力をいただき、利用者の健康意識の高揚に努めました。	28) 地域の企業と連携することにより、新しい事業に取り組むことができました。引き続き、新しい連携を検討していきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立温水プール及び多摩市総合福祉センター	ニ幸産業・NSPグループ	令和4年4月1日	30) 第1回総合福祉センターポッチャ大会開催	30) センター利用者、館内テナント、多老連に声を掛け、実行委員会形式で第1回となるポッチャ大会を開催しました。当日雪で小規模開催となりましたが、交流を深め、ポッチャフレンドカップへの参加へつながった。	30) 多摩市が普及に力を入れるポッチャ競技を通して、年齢や障害の隔てなくスポーツを楽しみました。是非、運営方法等を検討して継続していきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
駐輪場	NCD株式会社	令和3年4月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全点検キャンペーンの実施(永山駅、多摩センター駅東、多摩センター駅西) ・暴行事件発生を受け、ココセコム(ペンダント型通報装置)を導入 ・各種研修をパソコンまたは本社で実施することにより、マニュアル等の資料印刷が不要となり、資源の削減に努めました。 	左欄を行うことで <ul style="list-style-type: none"> ・車両事故等に対する意識の向上と事故予防に繋げることが出来ました。 ・管理員と利用者の安全をさらに強化することができました。 ・マニュアル等の資料印刷が不要となり、資源の削減をすることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一時利用のバイクエリアを一部自転車にシステムを変更することでサービスの向上に努めました。 ・引き続き、車両の多様化に対する対応を継続するとともに、利用状況に適した各車種別受入台数の見直しを課題としていきます。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パラマリゾート	平成30年4月1日	1.八王子市移動教室実施の取組	<p>① 移動教室実地踏査前説明会へ出席して、実地踏査に関する流れや施設の対応について説明を行った。参加の学校は初めての施設であり、不安もある様子であった。</p> <p>② 実地踏査では参加の教職員が自身の受け持ち児童の動きを想定しながら、熱心に施設の様子を記録にとり、保護者説明会に活用できる材料を考えていた。 実地踏査は1泊2日で行い、コース及び説明内容は八王子市校長会の希望に従い、館内・屋外の案内と説明を行った。 質疑応答に関しては、現地を回りながら、都度対応しました。</p> <p>③ 移動教室本番では施設外の立ち寄り施設の選択に迷う事もあり、遠回りのコースをとる学校があった事で、今後更に学校が1泊2日の時間を有効に過ごせるよう、見学場所の選択にも丁寧な対応を進めていきます。</p>	<p>① 施設側として質疑応答内容の精査及び学校側の求めているものを聞き取り最適なアドバイスや提案を行った。 八王子市の利用学校が求めている内容等は事前に施設職員に共有して本番の対応に活かしていく。</p> <p>② 移動教室本番では、初年度でもあり計画時間のずれがありましたが、施設での時間をうまく調整しながら、無事計画通り行う事が出来た。</p>

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パラマリゾート	平成30年4月1日	2.星空観察ガイドの有効活用	① 一般の家族や団体にも星空観察を楽しんで頂けるように星空ガイドと連携して、不定期でガイドが主導で星空観察を実施しました。 宿泊申込の際、問い合わせがあった際ガイドを紹介して、利用者と直接実施について調整を行って頂きます。	① 今後はホームページを最大限に活用するなど告知を進めていきたい。 観察会を行う頻度又は実施場所の確保についても課題である。 今後この事業が少しでも収入につながるよう実施内容を詰めていきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
多摩市立八ヶ岳少年自然の家	一般社団法人 富士見パノラマリゾート	平成30年4月1日	3.テントエリアの新規開拓	① ソロキャンプのブームもあり、当施設でもテントエリアの整備をしました。 野外炊飯場西側付近で、整地をせず自然の地形を生かした場所であり、南側が開けており夜には星空が一望できる場所としても利用可能とした。	① 場所の整備は出来たが、利用のマニュアルが不十分であった。 告知方法もブログでの発信はしたが、他からの発信にも取り組んでいきたい。

施設名	指定管理者名	指定年月日	主な改善事項、新たな取り組み事項 【指定管理者の自己PR】 指定管理者として特に力を注いだ事業(セールスポイント)、新たな取り組みや改善点、運営上の特筆すべき事項等を記入	左欄の記載事項の実施による成果・効果 改善や新たな取り組みにより、事業運営にどのような成果や効果があったか、(まだ、成果が出ていない場合、今後どうなることを目指しているか)を記入	前年度の事業運営との比較 今後の事業運営における課題 改善や新たな取り組みより、事業運営がどう変化したと感じるか、また、現在、事業運営上、課題となっていること、また、解決方法があれば記入
永山複合施設駐車場	新都市センター開発株式会社	令和6年4月1日	<p>年末年始の休業日に、誘引換気ファンの清掃及び、駐車場入口のライン塗装を実施しました。</p> <p>また、定期的な巡回・清掃を行っていない時でもモニター監視を注視し、利用者が出入口で停止している時等、すぐに場内へ行き、直接声をかけて対応する等、お困りの利用者への対応を常に意識を強く心掛けるように監視をした。</p>	<p>誘引換気ファンの清掃を実施したことにより、機器の機能維持、場内の換気の向上へ繋がった。</p> <p>また、見えにくかった入口ラインも塗装により美観・視認性の改善となったと思われます。</p> <p>また、巡回時以外でも監視モニターを意識する事により、利用者が困っている状況を、より早く対応できサービス向上へつながった。</p>	<p>駐車台数は2.3%減少、使用料収入は3%増加している。断続的に満車は発生しているが、振替証明カード発行数は、前年度より2枚増え、3枚を発行した。前年度の課題は実施しており、今年度については、駐車場内給排気ファンガラリ清掃及び、場内誘導矢印・柱等の各所塗装劣化箇所補修を検討しています。</p>